



メーカー管理用です。

アメジュシャワートイレ

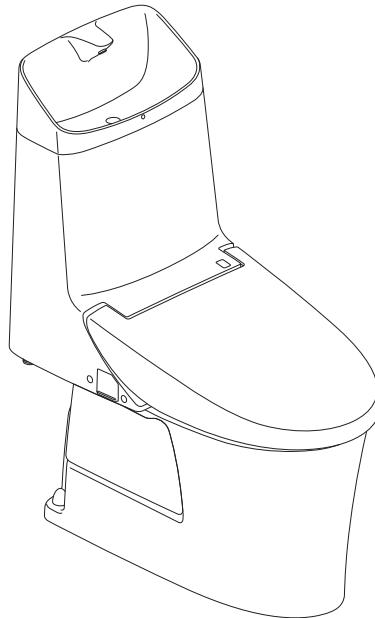
DT-Z386型, DT-Z356型

DT-Z384型, DT-Z354型

DT-Z382型, DT-Z352型

DT-Z381型, DT-Z351型

取扱説明書



このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、

必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書でご案内するWEB・動画の閲覧について

※1 通信料はお客さまのご負担となります。 ※2 お使いの環境/端末により閲覧できない場合があります。

安全上のご注意・必ずお守りください

3～7ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつくおそれがあります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

保証書別添

WEB取扱説明書のご案内

パソコンやスマートフォンで、
使い方やお手入れなど、動画や
アニメーションでわかりやすく
ご覧いただけます。



https://www.lixil.co.jp/support/manual/toiletroom/ameju_z3/

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
ご使用前の準備と確認	11
機能の紹介	17

使い方

使い方ガイド	19
便フタ・便座を開閉する	21
便座の温度を変える	22
おしりを洗う	22
おしりを乾かす	25
水を流す	26
脱臭する	28
イオンで除菌する	29
節電する	30
お好みの設定にする	32

お手入れ

お手入れガイド	33
お手入れの準備をする	35
プラスチック部分のお手入れ	36
便器のお手入れ	38
本体と便器のすきまのお手入れ	38
ノズルのお手入れ	40
ノズルシャッターのお手入れ	43
脱臭カートリッジのお手入れ	45
サイドカバーの取外し/取付け	46
ストレーナーのお手入れ	47

こんなときは

断水したとき	49
凍結しそうなとき	49
長期間使用しないとき	55
リモコンの電池が切れたとき	57

修理を依頼する前に

よくあるお問い合わせ	59
------------	----

アフターサービス

製品の長期使用について	71
点検・交換をする	73
修理を依頼する	77
保証を延長する	78

仕様

機能/性能について	80
-----------	----

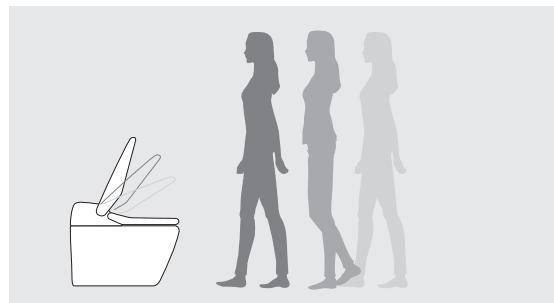
各種お問い合わせ窓口

裏表紙

基本的な使い方

1 トイレに近づく

便フタ・便座を開閉する	21
脱臭する	28



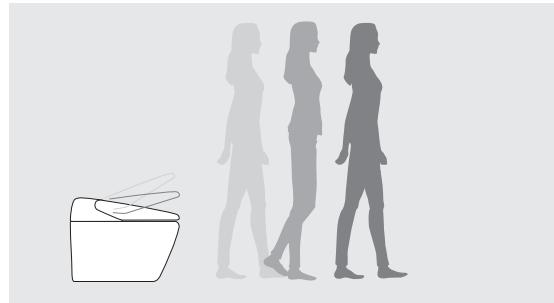
2 便座に座る

おしりを洗う	22
おしりを乾かす	25



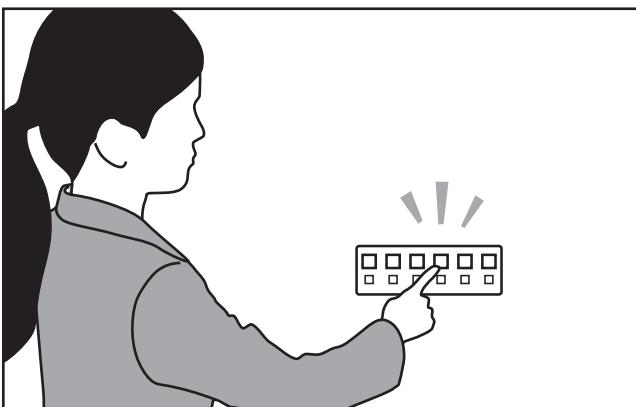
3 立ち上がる、立ち去る

水を流す	26
イオンで除菌する	29
節電する	30



何が知りたいですか？

使い方がわからない



各部の名称	11
機能の紹介	17
使い方ガイド	19
お好みの設定に	32

お手入れのしかた



お手入れの場所と汚れの種類	33
お手入れに必要な道具	35
洗剤について	35
お掃除グッズの購入	76

困ったとき



断水した	49
凍結しそう	49
長期間使用しない	55
リモコンの電池を交換したい	57
よくあるお問い合わせ	59
修理を依頼する	77

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

◆補足 | • トイレ本体各部の名称 (☞ 11 ページ)

表示と意味



死亡または重傷を負うおそれがある内容です。



傷害や物的損害が発生するおそれがある内容です。



必ず実行していただく「指示実行」の記号です。



してはいけない「禁止」の記号です。



■故障したとき

故障とは

異音 / 異臭 / 発煙 / 高温 / 割れ / 漏水



- コンセントから電源プラグを抜く
- 止水栓を閉める
- 修理・交換を依頼する

(破損・けが・感電・火災のおそれ)



- 故障したまま使用しない

(けが・感電・火災・漏水のおそれ)

■設置・お手入れ・ご使用時



- 電源プラグを抜き差しする場合は、電源プラグ本体を持つ
- 電源プラグは根元まで差し込む
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた布でホコリを拭き取る
- コンセントは次のものを使用する
 - ・アースターミナル付接地極付
 - ・ガタつきがない
- アース線をコンセントのアースターミナルに接続する
- AC100Vで使用する
(破損・感電・火災の原因)

- シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める
(感電・火災・室内浸水のおそれ)



- 電源プラグは濡れた手で触れない
- 水や洗剤をかけない
- 電源プラグはタコ足配線をしない
- 雷が発生しているときは触れない
(感電・火災の原因)

- 電源コードに次のことをしない
 - ・キズを付ける
 - ・破損する
 - ・加工する
 - ・無理に曲げる
 - ・引っ張る
 - ・ねじる
 - ・束ねる
 - ・重いものを載せる
 - ・挟み込む

(破損・感電・火災の原因)

安全上のご注意

■ご使用時



- ・化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する
(身体への著しい障がいをまねくおそれ)
- ・長時間使用や、次のような方が使用する場合は、周りの方が便座温度を「切」にする
- ・温風乾燥の長時間使用や、次のような方が使用する場合は、周りの方が温風乾燥温度を「低(切)」にする
 - ・お子さま
 - ・お年寄り
 - ・病気の方
 - ・ご自分で温度調節できない方
 - ・皮膚の弱い方
 - ・睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
 - ・深酒された方
 - ・疲労が激しい方
(低温ヤケドのおそれ)

■電池



- ・ $\oplus\ominus$ を正しく入れる
 - ・次の場合は、電池を取り出す
 - ・使い切った
 - ・長期間使用しない
 - ・破棄する場合は、絶縁する
(火災の原因)
 - ・充電式の電池は使用しない
(破損・火災の原因)
 - ・乳幼児の手の届く場所に置かない
(誤飲の原因)
→誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
 - ・電池液が身体に付着した場合は、水でよく洗い流す
 - ・電池液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐにきれいな水で洗う
(失明のおそれ)
→処置をした後、すぐに医師に相談してください。
-
-
- ・金属製のものと一緒にしない
 - ・新しい電池と古い電池、種類の異なる電池と一緒に使用しない
 - ・加熱しない
 - ・分解しない
 - ・水や火の中に入れない
(火災の原因)

安全上のご注意

■設置環境

- !
 - ・凍結のおそれがある場合は、凍結防止操作をする（☞49ページ）
(火災・室内漏水の原因)

- !
 - ・バスルームなど湿気の多い場所に設置しない
(感電・火災の原因)

■その他

- !
 - ・新築／改築工事後や、水道断水の復旧後は配管内の空気を抜く
(器具・配管の破損・故障の原因
けが・財産損害のおそれ)

- !
 - ・分解／改造をしない
(感電・火災・けがの原因)

⚠ 注意

■設置・お手入れ・お掃除

- !
 - ・電源プラグをコンセントから抜く
(感電のおそれ)
 - ・洗剤を使用する場合は換気する
 - ・洗剤で掃除した後は、便フタ・便座を開けておく
(体調不良のおそれ)
 - ・プラスチック部のお手入れは、次の洗剤を使用しない
 - ・トイレ用洗剤
 - ・住宅用洗剤
 - ・漂白剤
 - ・ベンジン
 - ・シンナー
 - ・クレンザー
 - ・クレゾール
(破損・けが・感電・火災のおそれ)
 - ・便器(陶器)のお手入れは、次の洗剤を使用しない
 - ・強いアルカリ性洗剤
 - ・フッ素系洗剤
 - ・研磨剤入りの洗剤
(キズが付くおそれ)
 - ・撥水作用がある洗剤や掃除道具
 - ・表面コート作用がある洗剤や掃除道具
(防汚性能が十分に発揮できなくなる)
 - ・塩素系洗剤
 - ・酸性洗剤
 - ・消毒剤

安全上のご注意

■止水栓・給水ホース



- ・水道水および飲用可能な井戸水に接続する
(腐食・感電・火災・皮膚の炎症の原因)
→飲用可能な井戸水でも水アカの付着、腐食等の発生で、修理が必要な故障が起きやすくなる場合がありますので定期的なメンテナンスが必要です。また、井戸水は環境によって変化する場合がありますので、定期的な水質検査や水質改善設備の維持管理などが必要です。
- ・ストレーナーを外す場合は、止水栓を閉める
- ・ストレーナーを外すときは、給水ホースにキズを付けない
- ・ストレーナーはすき間がないように取り付ける
- ・ストレーナーを取り付ける場合は、Oリングにゴミが付着していないことを確認する
(漏水・室内浸水の原因)
- ・クイックファスナーが給水ホースに正しくはまっていることを確認する
(漏水・室内浸水の原因)



- ・止水栓・クイックファスナーに無理な力を加えない
 - ・給水ホースに次のようなことをしない
 - ・折り曲げる
 - ・つぶす
- (漏水・室内浸水・破損の原因)

■トイレ本体・便器

- ・便フタや本体の上に乗らない
- ・便フタにもたれない
(破損・けがのおそれ)
- ・便器に熱湯を注がない
- ・便器に強い衝撃を与えない
(破損・漏水・けがのおそれ)
- ・破損している部分に触れない
(けがのおそれ)
- ・ロータンクフタ・手洗鉢(手洗付の場合)を開けない
(感電のおそれ)
- ・ロータンクフタ・手洗鉢(手洗付の場合)およびタンク内で石けん類、芳香洗浄剤などの洗剤、薬品類を使用しない
(漏水・止水不良・作動不良の原因)
- ・手洗鉢(手洗付の場合)にトイレットペーパーやゴミなどを流さない
また、ぞうきんやモップなどを洗わない
(漏水・止水不良の原因)

安全上のご注意

■脱臭カートリッジ

-  脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない

■その他



- 次のような方が使用する場合は、周りの方が転倒に注意する
 - お子さま
 - お年寄り
 - ご自分で座ることや立ち上がることができない方
(けが・破損のおそれ)
- 長期間使用しない場合は、次の操作をする (☞ 55 ページ)
 - 水抜き
 - 電源プラグを抜く
(火災・室内浸水・皮膚の炎症のおそれ)
- 定期的に水漏れがないか確認する
(財産損害のおそれ)



- タバコや灰皿などの火気類を近づけない
(火災のおそれ)

使用上のご注意

お願い

■全体

- 直射日光を当てないでください。
(変色・作動不良の原因)
- 暖房機器を近づけないでください。
(変色・故障の原因)
- スプレーなどを使用する場合は、換気してください。
(光沢の消失・故障の原因)

■プラスチック部

(便フタ / 便座 / 手洗鉢 / 手洗吐水口 / カバー類 / リモコン)

- 乾いた布やトイレットペーパーによる拭き取り、およびメラミンスポンジを使用しないでください。
(☞ 36 ページ)
(光沢の消失・キズの原因)
- トイレ用消臭剤をかけないでください。
(光沢の消失・故障の原因)

■便フタ・便座

- 便フタ / 便座の開閉は乱暴に行わないでください。
(故障・破損・漏電の原因)
- 便フタカバー・便座カバーは取り付けないでください。
(故障・破損の原因、便フタが倒れるおそれ)

■本体

(温風乾燥付の場合)

- 温風の吹出口をふさがないでください。
(故障の原因)

■リモコン

- 水や洗剤をかけないでください。
- 濡れた手で操作しないでください。
(故障の原因)

使用上のご注意

お願い(つづき)

■電源プラグ・コンセント

- 電源プラグをコンセントに差し直したり、電源を「入」にした場合は、10秒程度時間をあけてください。
- 便座に触れたまま電源プラグをコンセントに差し込まないでください。シャワーが出ない場合があります。

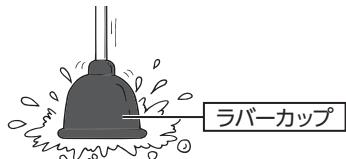
■便器の詰まりを防ぐ

動画で確認

便器が詰まったとき



- トイレットペーパーを使用してください。
- 1回の洗浄で流れきらないことがあります。
- バリウムなど水に溶けにくく、重いものはトイレブラシで細かくしてから、数回水を流してください。
- 大洗浄で一度に流すトイレットペーパーの量は、5mを目安にしてください。(JIS規格を参考にした量)
- 配管が詰まるような異物を流さないでください。
→詰まった場合は水を流さず、市販の吸引器(商品名:ラバーカップ)で異物を取り除いてください。
(汚水があふれて床を汚すおそれ)

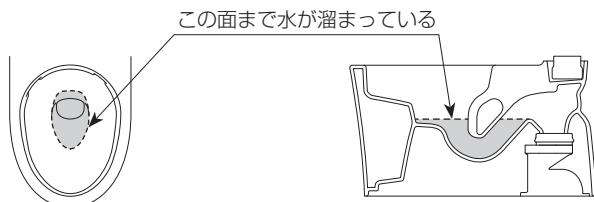


- 小用でも使用後は必ず水を流してください。
(洗浄不良や詰まりの原因)
- 溜水面から奥の便器内部に、ホースや硬いものを入れないでください。
(故障の原因)

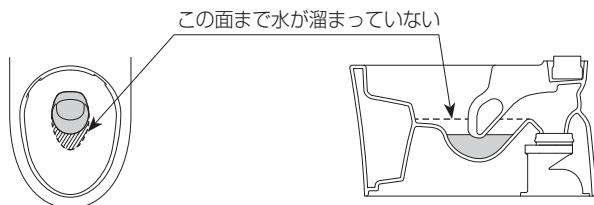
■溜水面が低下した場合

- バケツなどで少しづつ水を入れ、数回水を流しても溜水面が低下する場合は、LIXIL修理受付センターまでご連絡ください。(裏表紙)

□溜水面が正常な状態



□溜水面が低下した状態



■フルオート便座付の場合

- 小さなお子さまが使用する場合は、「切」にしてください。「着座センサー」が検知できず、使用中に便フタが閉じてくることがあります。

■雷予報が出た場合

- 雷が発生する前に電源プラグをコンセントから抜いてください。
(故障の原因)

使用上のご注意

知っておいていただきたいこと

■電源プラグをコンセントに差し込んだとき

ノズルの初期位置設定のために、ノズルが約10秒間伸びてから戻ります。

■便座の温度

便座は一定の温度に調節しています。温度は、「切(室温)」、「低(約28°C)」～「高(約36°C)」に切り替えることができます。

■低温やけど防止のために

「着座センサー」が1時間以上検知し続けると暖房便座が「切」の状態になります。

■便フタ・便座の開閉

衝撃をやわらげるために、ゆっくりと閉じる「スローダウン機構」が装備されています。

 **補足** • フルオート便座付の場合、電源が「切」の間はスローダウンしません。

■シャワーの温度

「おしり洗浄」または「ビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約10分間かかります。

■洗浄の前後や温水温度を調節したときに

ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

■誤操作防止のために

人が座っていない場合に、誤って操作しても作動しないように、「着座センサー」が付いています。

■座って小便をする場合

座る位置をずらしたり、トイレットペーパーを敷いたりすることで、はね返りを抑えることができます。

■フルオート便座付の場合

□人体検知センサー

人が入室したことを検知して、便フタを自動で開きます。「人体検知センサー(上)」は、熱の変化(人の動き)を検知しています。



- 室温が高い場合、人と周囲の温度差が少なくなり、センサーが検知しないことがあります。
- 太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があったりすると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。

■使い始めに温風がにおう (温風乾燥付の場合)

新しいうちは、温風が少しにおうことがあります、故障ではありません。ご使用とともに消えていきます。

■リモコンの電池残量

リモコンの電池表示は電池の消耗をお知らせするものです。点滅したら新しい電池に交換してください。

■ラジオやテレビに雑音が入る

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

■ストレーナーの汚れがひどい場合

「ストレーナー」を掃除してください。(☞47ページ)

- ○リングにキズを付けないように注意してください。○リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
- 锐利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
- 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

使用上のご注意

知っておいていただきたいこと(つづき)

■漏電が発生した場合

漏電が発生すると、事故防止のために電気を遮断します。電源プラグの「表示ランプ」が点灯します。
(☞ 74 ページ)

■省エネのために

次のようにすると節電になります。

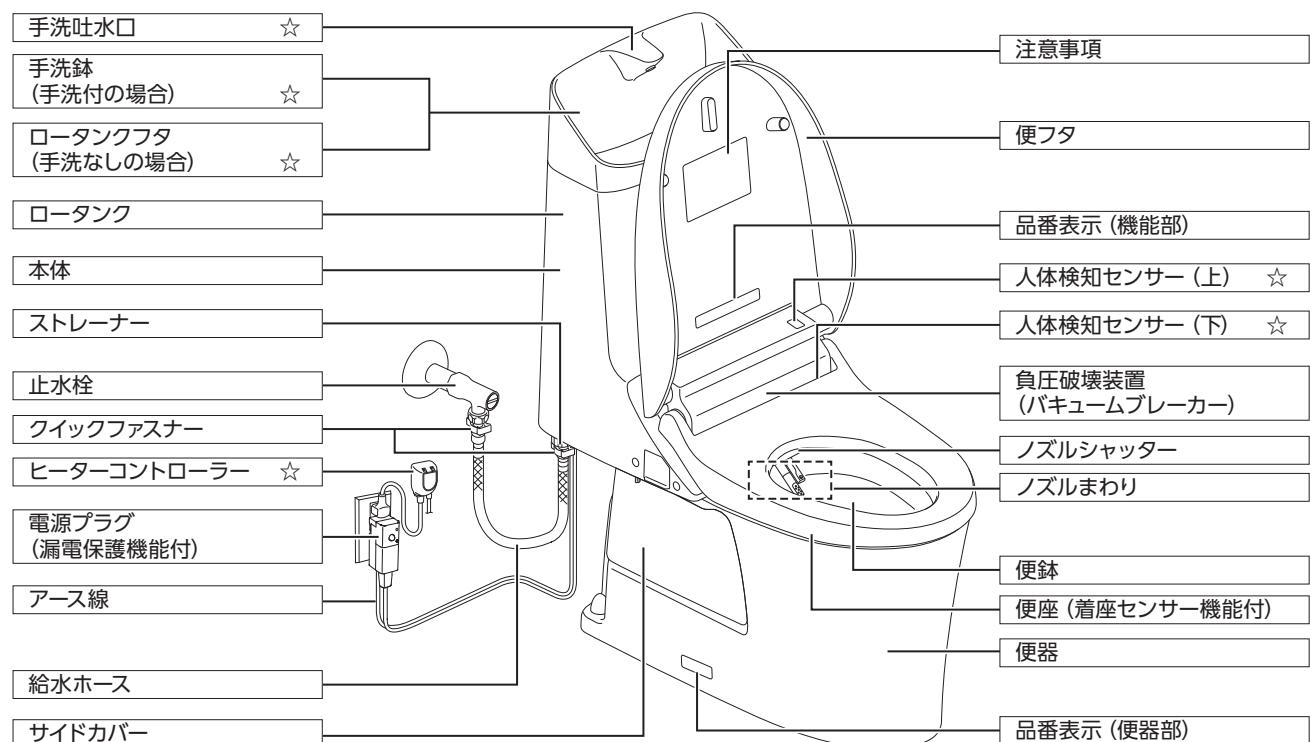
- ・使用した後は便フタを閉じる
- ・暖房便座や温水の設定を高温にしない
- ・気温に合わせてこまめに温度設定を調節する
- ・節電機能が付いている場合は利用する
- ・不在時は電源を「切」にする

ご使用前の準備と確認

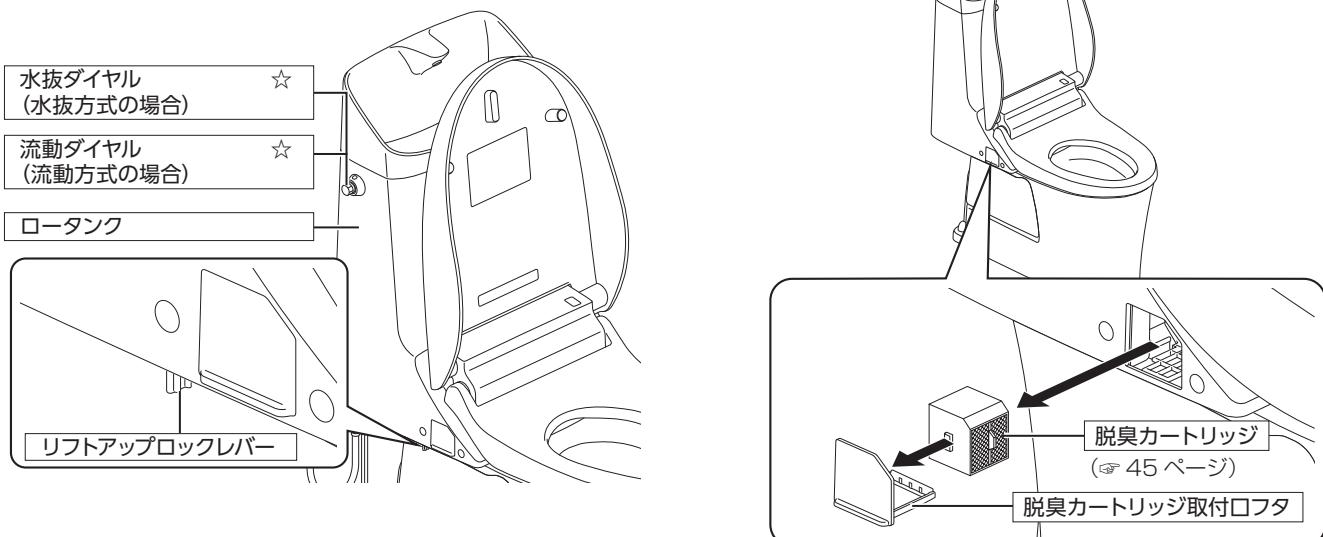
トイレ本体各部の名称

- 補足**
- 機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。
 - 本書のトイレのイラストと実際の形状が異なる場合があります。

■ トイレ全体



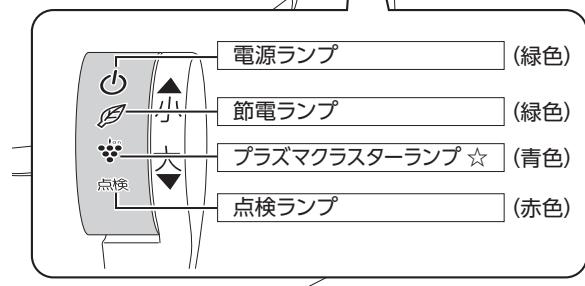
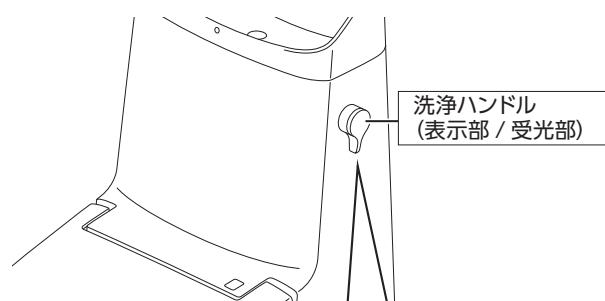
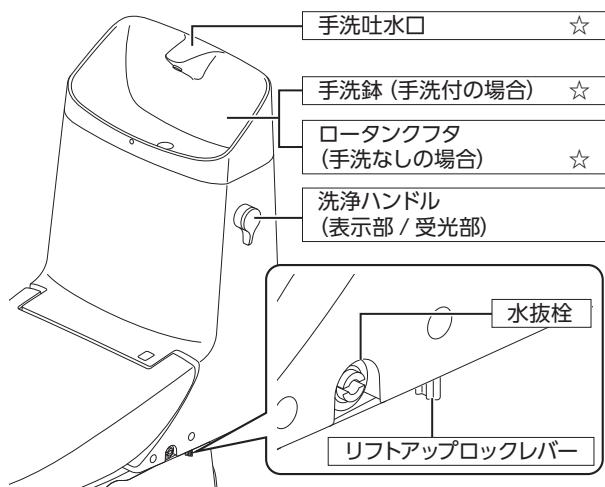
■ 本体左側面



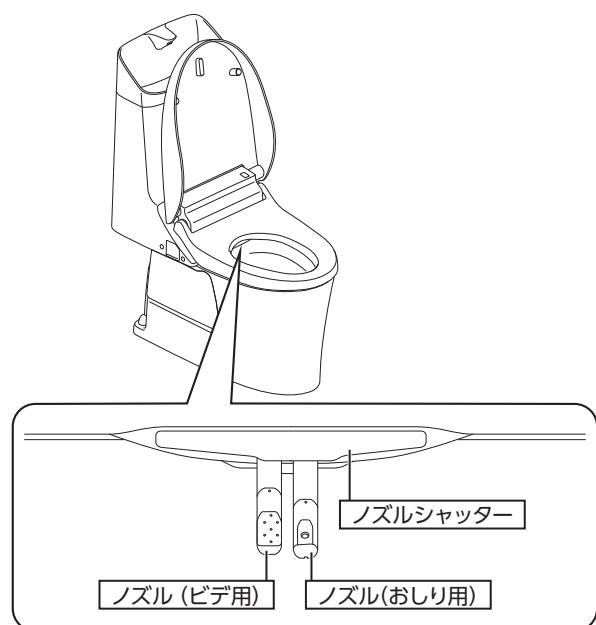
ご使用前の準備と確認

トイレ本体各部の名称(つづき)

■本体右側面



■ノズルまわり



ご使用前の準備と確認

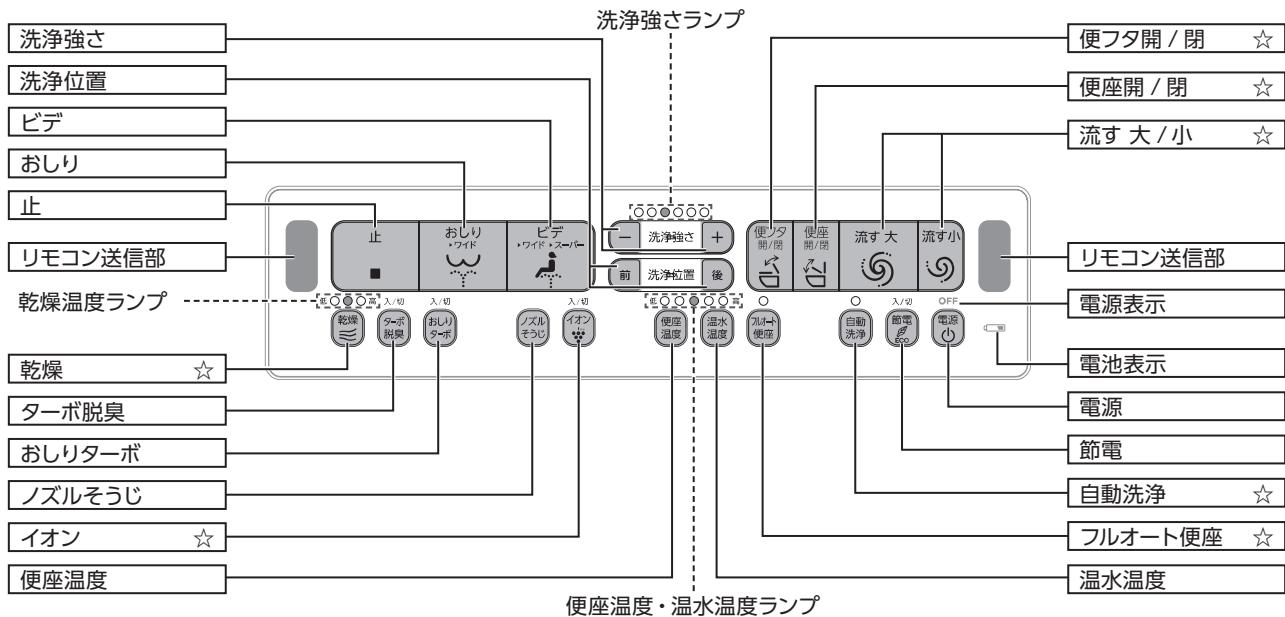
リモコン各部の名称

-  **補足** • 機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。
• 本書の操作方法では壁リモコンのイラストをメインとして記載していますが、インテリアリモコンも操作方法（ボタン）は同じです。

壁リモコン

- 補足**

 - 壁リモコンの電源ボタンで電源を「入」にした場合、すべてのランプが数秒点灯します。
 - 壁リモコンの電源ボタンで電源を「切」にした場合、電源表示が数秒点灯します。
 - 壁リモコンのランプはボタン操作後数秒で消灯します。

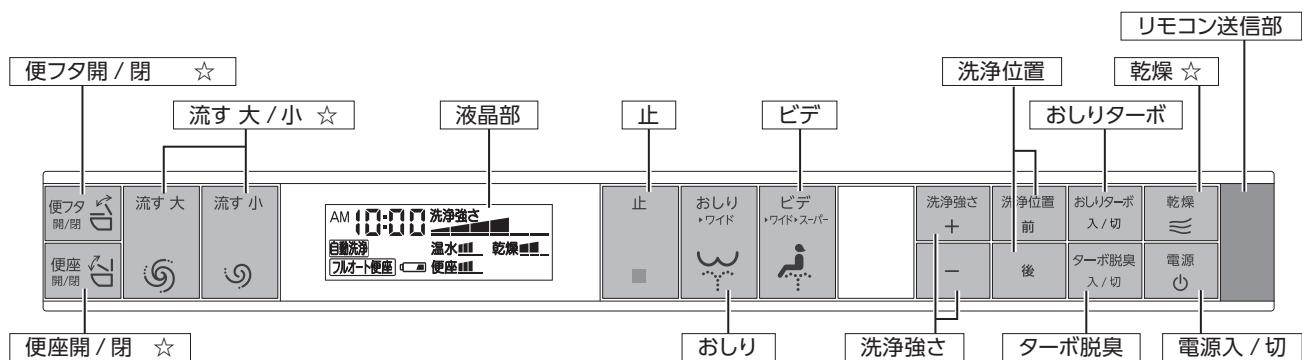


ご使用前の準備と確認

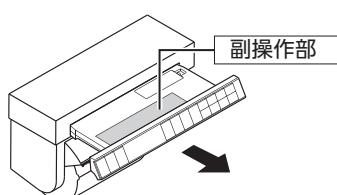
リモコン各部の名称 (つづき)

■インテリアリモコン

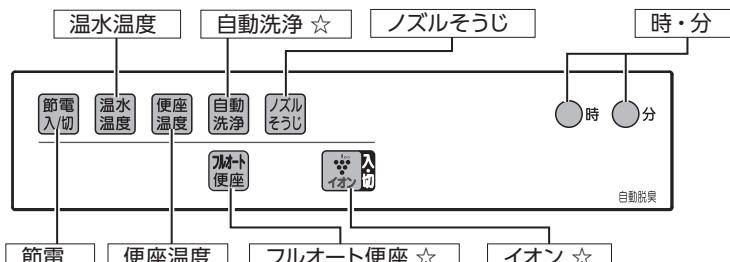
補足 |・インテリアリモコンの電源ボタンで電源を「切」にした場合、液晶部が「OFF」と表示されます。



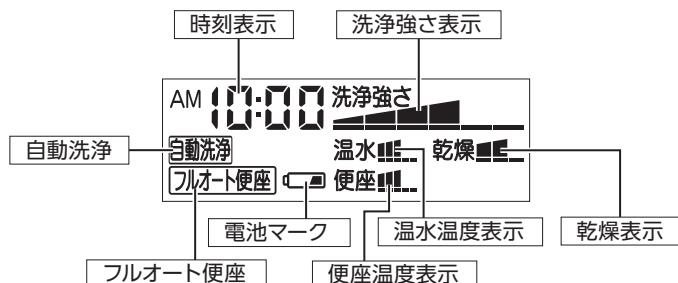
□副操作部



リモコンを引き出します。



□液晶部



□時計の合わせかた

【時】と【分】を押して時刻を合わせる。

補足 |・AM (午前)、PM (午後) に注意してください。

時計合わせスイッチ



表示部



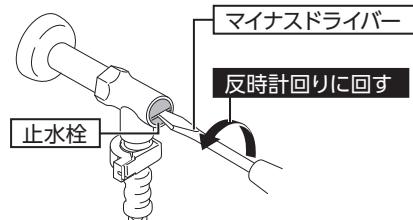
ご使用前の準備と確認

リモコンボタン名称の記載がある手順は、そのボタンを押してください。

はじめてトイレをご使用になる前に

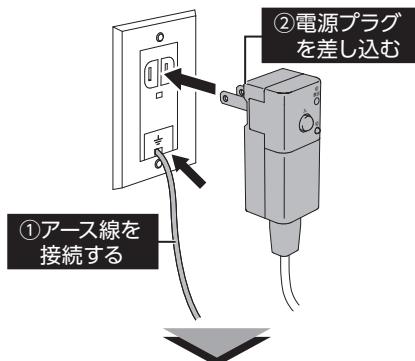
シャワートイレをはじめてご使用になる前に、準備と確認をしてください。

1 止水栓を開く

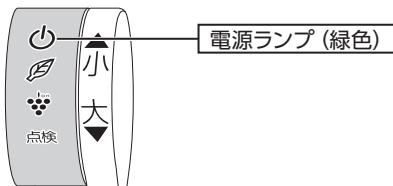


- 補足
- 止水栓は便器への洗浄水を止めるときに使用します。
 - 全開にした後、固着防止のため 1/4 回転程度戻してください。

2 電源を接続する



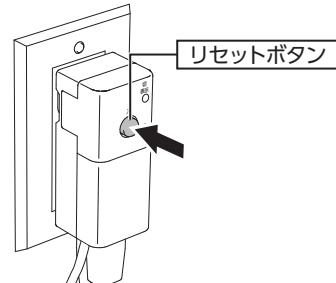
本体表示部の「電源ランプ」が緑色に点灯していることを確認する



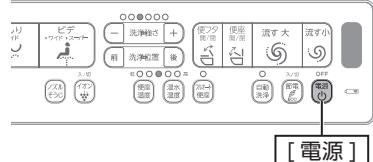
2

補足

- 点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押してください。



- それでも点灯しないときは壁リモコンの[電源]を押してください。

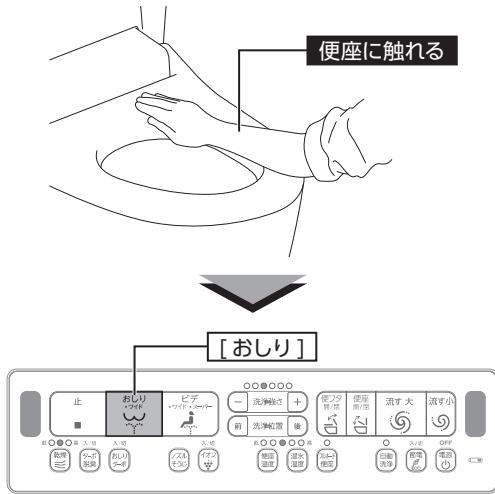


3

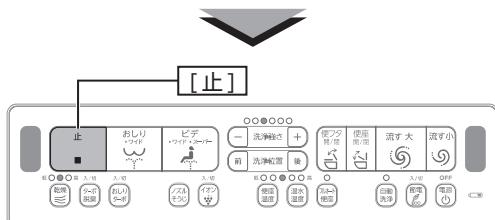
[流す 大] または本体の洗浄ハンドルを操作して、便器洗浄の水が出ることを確認する

ご使用前の準備と確認

4 シャワーが出ることを確認する



◆ 補足 | • 温水タンクが満水でない場合、約 1～2 分かかることがあります。



5 溫度を調節する

◆ 補足 | • 便座の温度 (☞ 22 ページ)
| • シャワーの温度 (☞ 24 ページ)
| • 溫風乾燥の温度 (☞ 25 ページ)

機能の紹介

品番対応一覧

品番は、便フタ裏の品番表示（☞ 11 ページ）に記載されています。お持ちの機能を確認してください。
設定を変更した場合、電源プラグを抜いたり、電源ボタンを「切」にしても変更した設定は記憶されています。

- ◆ 補足 | • 「ワンタッチ節電」は、電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 31 ページ）
• 品番の「X」には、いずれかの英数字が入ります。

シリーズ名	グレード	品番（機能部）	便器洗浄	洗浄操作	凍結防止方式
アメージュシャワートイレ	Z6	DT-Z386 型, DT-Z356 型	・フルオート 便器洗浄 ・リモコン 便器洗浄 ・手動洗浄	・自動	—
		DT-Z386N 型, DT-Z356N 型			水抜き方式
		DT-Z386W 型, DT-Z356W 型			流動方式
	Z4	DT-Z384 型, DT-Z354 型		・リモコン	—
		DT-Z384N 型, DT-Z354N 型			水抜き方式
		DT-Z384W 型, DT-Z354W 型			流動方式
	Z2	DT-Z382 型, DT-Z352 型		・洗浄ハンドル	—
		DT-Z382N 型, DT-Z352N 型			水抜き方式
		DT-Z382W 型, DT-Z352W 型			流動方式
	Z1	DT-Z381 型, DT-Z351 型	手動洗浄	洗浄ハンドル	—
		DT-Z381N 型, DT-Z351N 型			水抜き方式
		DT-Z381W 型, DT-Z351W 型			流動方式

キレイ機能

機能	初期設定	参照ページ	Z6	Z4	Z2	Z1
ハイパーキラミック (ISO 抗菌準拠)	—	—	○	○	○	○
			チェンジオプション			
アクアセラミック (ISO 抗菌準拠)	—	35	○	○	○	○
鉢内除菌	切	29	○	○	—	—
パワーストリーク洗浄	—	80	○	○	○	○
お掃除リフトアップ（手動）	—	38	○	○	○	○
ノズルシャッター	—	43	○	○	○	○
ノズルそうじ	—	40	○	○	○	○
ノズル先端着脱	—	42	○	○	○	○
キレイ便座	—	—	○	○	○	○
女性専用レディスノズル（ビデ）	—	23	○	○	○	○
ノズルオートクリーニング	入	40	○	○	○	○
便フタワンタッチ着脱	—	36	○	○	○	○
抗菌樹脂 (ISO 抗菌準拠)	—	80	○	○	○	○

- ◆ 補足 | • アクアセラミック仕様の便器は品番の最初に「Y」が付いています。（例：YBC-XXXX）ハイパーキラミック仕様の便器は「Y」はありません。（例：BC-XXXX）

機能の紹介

エコ機能

機能	初期設定	参照ページ	Z6	Z4	Z2	Z1
超節水トイレ (ECO5)	—	80	○	○	○	○
スーパー節電	切	31	○	○	○	○
ワンタッチ節電 (8h)	切	31	○	○	○	○
電源ボタン	—	13	○	○	○	○

洗浄機能

機能	初期設定	参照ページ	Z6	Z4	Z2	Z1
おしり洗浄 (泡ジェット)	3	22	○	○	○	○
おしりターボ洗浄	—	23	○	○	○	○
おしりワイド洗浄	—	22	○	○	○	○
ビデ洗浄	3	23	○	○	○	○
ワイドビデ洗浄 (スーパーワイドビデ洗浄)	—	23	○	○	○	○
ノズル位置調節	中	24	○	○	○	○

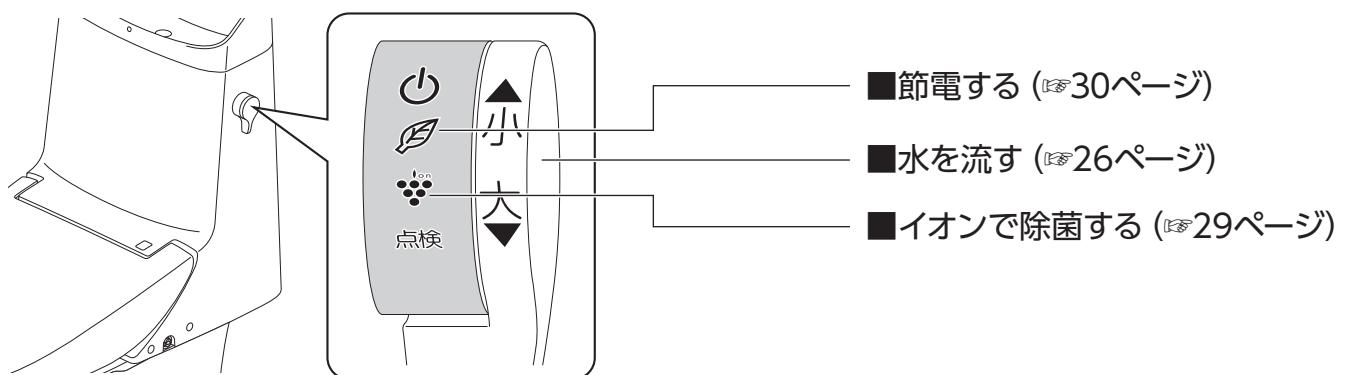
快適機能

機能	初期設定	参照ページ	Z6	Z4	Z2	Z1
フルオート便座	入 (6 秒)	21	○	—	—	—
フルオート便器洗浄	入 (6 秒)	26	○	○	○	—
温風乾燥	—	25	○	—	—	—
Wパワー脱臭	入	28	○	○	○	○
ターボ脱臭	切	29	○	○	○	○
暖房便座	低	22	○	○	○	○
スローダウン便座	—	80	○	○	○	○
便座ヒーターオート OFF	切	22	○	○	○	○
着座センサー	—	9	○	○	○	○
壁リモコン	—	13	○	○	○	○
インテリアリモコン	—	14	○	○	○	○
					チェンジオプション	
点字対応	—	—	○	○	○	○

使い方ガイド

トイレ本体

本体の部位別にかかる機能を紹介します。詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。

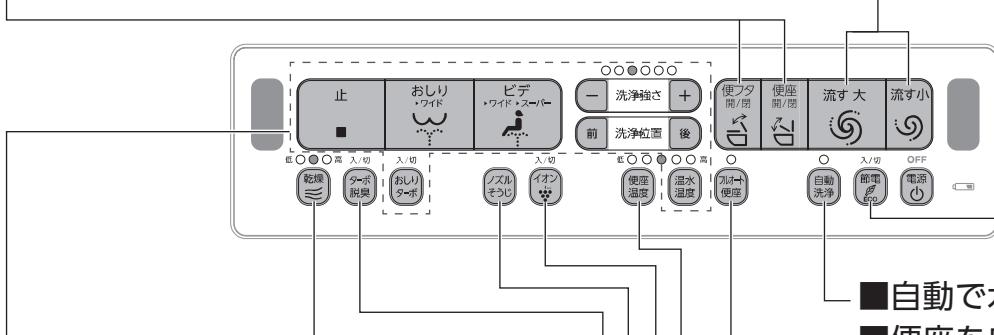


使い方ガイド

壁リモコン

基本的な操作は壁リモコンを使います。機能の詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。

■便フタ・便座を開閉する (☞21ページ)



■おしりを洗う (☞22ページ)

おしり洗浄	22
ビデ洗浄	23
シャワーの洗浄強さを調節する	24
おしりターボ洗浄	23
洗浄位置を調節する	24
シャワーの温水温度を調節する	24

■水を流す (☞26ページ)

■節電する
(☞30ページ)
■自動で水を流す (☞26ページ)

■便座を自動で開閉する (☞21ページ)

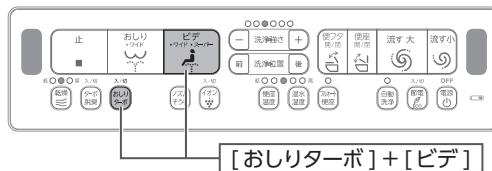
- 便座の温度を変える (☞22ページ)
- イオンで除菌する (☞29ページ)
- ノズルのお手入れをする (☞40ページ)
- さらに強く脱臭する (☞29ページ)
- おしりを乾かす (☞25ページ)

設定の切り替え

設定を「入」にすると「ピッ」と音が鳴ります。
「切」または初期設定の状態にすると「ピー」と音
が鳴ります。
リモコンのボタンを同時に2つ、2秒以上または6
秒以上押して設定を切り替える操作があります。

補足 | お好みの設定にする (☞32ページ)

例：便座ヒーターオート OFF



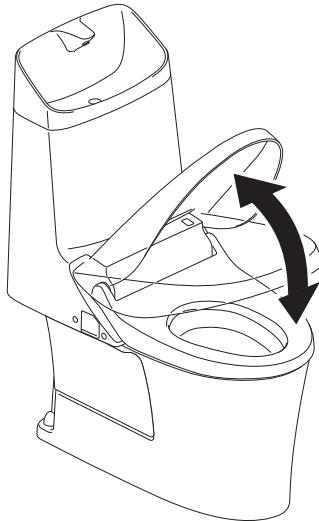
便フタ・便座を開閉する

便フタ・便座の開閉について

「フルオート便座」機能で自動で開閉、リモコンで開閉、「フルオート便座」機能の設定を切にして直接手で開閉する3種類があります。

自動で開閉する（フルオート便座）

便器の前に立つと便フタが自動で開き、便座から立ち上がると一定時間後に閉まります。

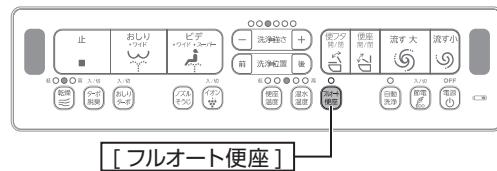


- 補足**
- この機能がついていない機種があります。（[17ページ](#)）
 - 便フタが閉じるとき「ピッピッピッピー」と音が鳴ります。
 - 電源を入れてから約1分間は開きません。
 - リモコンや手で便フタを閉じると、15秒間は開きません。
 - 座ってから立ち上がると約1分、座らないと約3分で便フタが閉まります。

設定を切り替える

初期設定 入

「フルオート便座」を1回押すと、「フルオート便座」の設定を確認できます。設定を切り替えるには5秒以内にもう1回押してください。「入」「切」が切り替わります。



⇒便フタと同時に便座も自動で開閉する

設定を切り替える

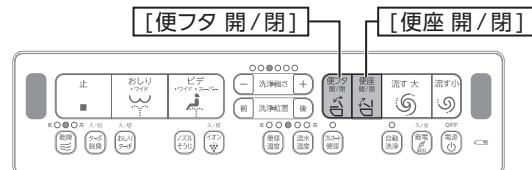
初期設定 切

「止」と「便座 開／閉」を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

補足 • 設定の切り替え（[20ページ](#)）

リモコンで開閉する

壁リモコンで便フタ・便座を開閉できます。ボタンを押すごとに開閉します。



手で開閉する

手で便フタ・便座を開閉します。

△ 注意 • 手で開閉するときは、強い力を加えない

便座の温度を変える

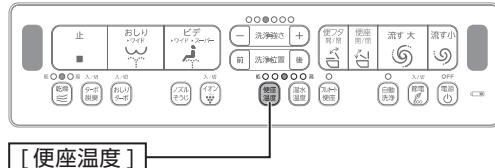
便座の温度を調節する

便座の温度を「切(室温)」、「低(約 28°C)」～「高(約 36°C)」の 6 段階に切り替えることができます。

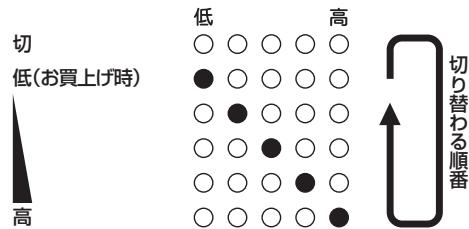
■設定を切り替える

初期設定 低

[便座温度] を押すたびに、「低(約 28°C)」→「切(室温)」→「高(約 36°C)」→「低(約 28°C)」の順に切り替わります。



温度設定 温度ランプの表示(○:消灯、●:点灯)



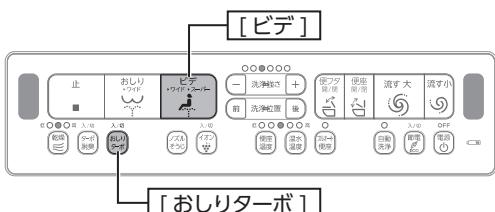
便座ヒーターを自動で「切」にする (便座ヒーターオート OFF)

「入」に設定すると、便座に座ったときに低温やけどの自動で防止します。

■設定を切り替える

初期設定 切

[おしりターボ] と [ビデ] を同じタイミングで 2 秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



補足 | 設定の切り替え (P. 20 ページ)

おしりを洗う

シャワーについて

シャワーでおしりの汚れを洗い流します。「おしり洗浄」「ビデ洗浄」の 2 種類があります。

2 種類の洗浄中に「ワイド洗浄」「スーパーウィド洗浄」の切替ができます。

「ワイド洗浄」は「おしりノズル」と「ビデノズル」が前後に動き、広い範囲をやさしく洗浄します。
「スーパーウィド洗浄」は「ビデノズル」が前後に動き、「ワイド洗浄」より広い範囲をよりやさしくしっかり洗浄します。

△ 注意

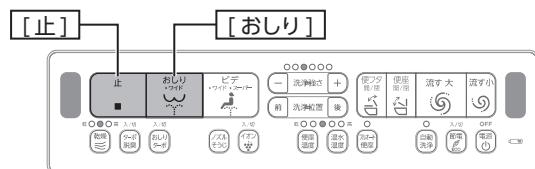
- 10 秒～20 秒を目安に使用する
- 便意を促すために使用しない
- 洗浄中、故意に排便しない
- 局部に痛みや炎症があるときは使用しない
- 局部の治療、医療行為を受けているときは、医師の指示に従う

◆ 補足

- 便座に深く腰掛けて使用すると飛び散りが少くなります。
- 便器洗浄中は、シャワーが使用できません。(フルオート便器洗浄付の場合)
- 給水圧力が低い場合は、シャワーが弱くなることがあります。
- おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗う「ノズルオートクリーニング」機能が付いています。
- 2 分後に自動的に停止する「セルフストップ機構付」です。

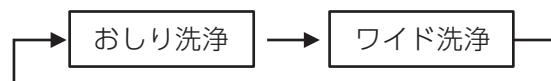
おしり洗浄

「おしり洗浄」は、排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。[おしり] を押すと洗浄が始まります。[止] を押すと洗浄が止まります。



洗浄モードを切り替える

洗浄中に [おしり] を押すたびに、「おしり洗浄」と「ワイド洗浄」が切り替わります。



おしりを洗う

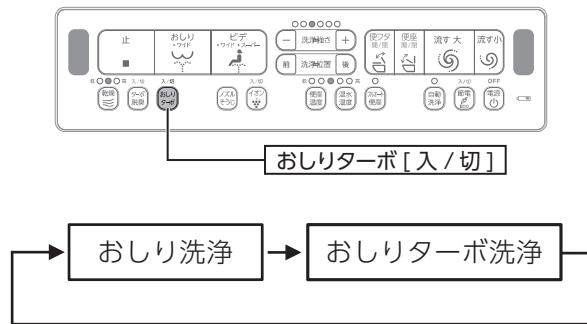
⇒おしりターボ洗浄

強(6段階の6番目)よりも、さらに強い水勢で洗浄します。

「おしり洗浄」中におしりターボ[入/切]を押すたびに、「おしり洗浄」と「おしりターボ洗浄」が切り替わります。

補足 「おしりターボ洗浄」の感じ方には個人差があります。給水温度がきわめて低い冬期は、シャワーの温度は早めに低くなりま

す。



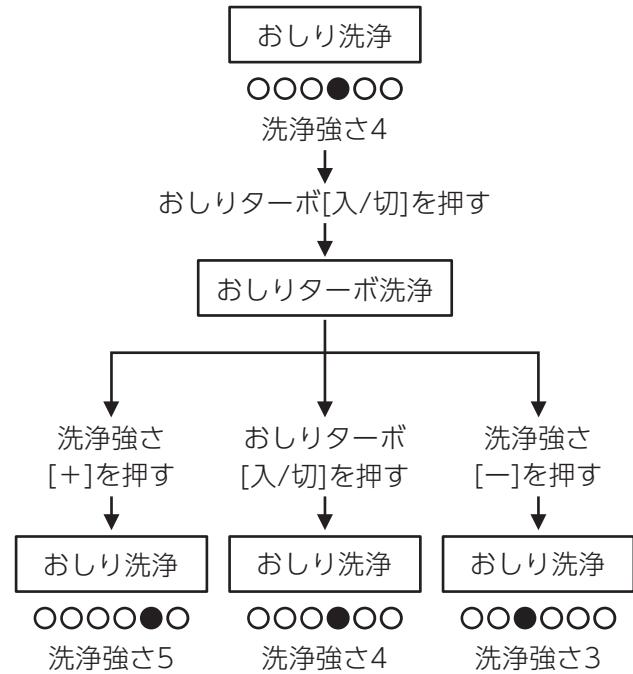
補足 「おしりターボ洗浄」から「おしり洗浄」に戻る場合は、「おしりターボ洗浄」に切り替える前と同じ水勢になります。

■「おしりターボ洗浄」中に、「おしり洗浄」に戻る

「おしりターボ洗浄」中に、洗浄強さ[+]を押すと、「おしりターボ洗浄」に切り替える前より1段階強い水勢の「おしり洗浄」に切り替わります。

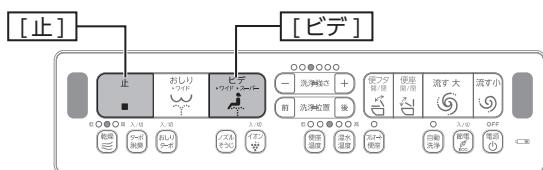
「おしりターボ洗浄」中に、洗浄強さ[-]を押すと、「おしりターボ洗浄」に切り替える前より1段階弱い水勢の「おしり洗浄」に切り替わります。

洗浄強さの切り替わり例



ビデ洗浄

「ビデ洗浄」は、生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。[ビデ]を押すと洗浄が始まります。[止]を押すと洗浄が止まります。



■洗浄モードを切り替える

洗浄中に[ビデ]を押すたびに、「ビデ洗浄」「ワイド洗浄」「スーパーワイド洗浄」が切り替わります。



おしりを洗う

シャワーの調節・設定について

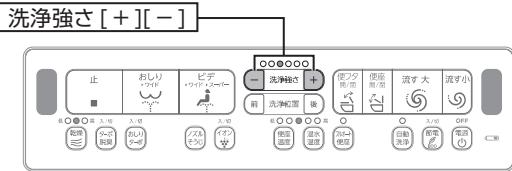
「おしり洗浄」「ビデ洗浄」中に、洗浄強さや洗浄位置が調節できます。また、シャワーの温度を設定できます。

シャワーの洗浄強さを調節する

初期設定 洗浄強さ 3

洗浄強さを6段階に調節できます。[+]を押すと強くなります。[-]を押すと弱くなります。

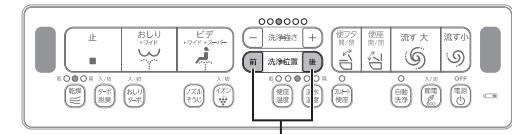
補足 •水勢は「弱」から試してください。



シャワーの洗浄位置を調節する

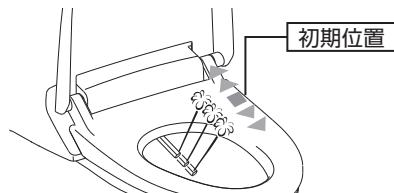
初期設定 中

洗浄位置を前後に各2段階、計5段階調節できます。



洗浄位置 [前][後]

補足 •便座から立ち上がると初期位置に戻ります。



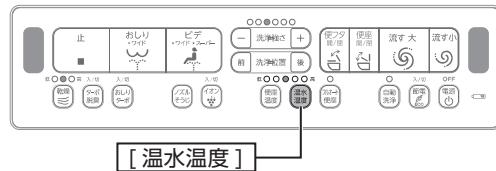
シャワーの温水温度を調節する

シャワーの温度を「切(水温)」、「低(約32°C)」～「高(約40°C)」の6段階に切り替えることができます。

設定を切り替える

初期設定 低

[温水温度]を押すたびに、「低(約32°C)」→「切(水温)」→「高(約40°C)」→「低(約32°C)」の順に切り替わります。



温度設定 温度ランプの表示(○:消灯、●:点灯)

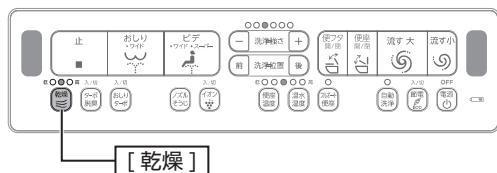
	低	高
切	○ ○ ○ ○ ○	
低(お買上げ時)	● ○ ○ ○ ○	
	○ ● ○ ○ ○	
	○ ○ ● ○ ○	
	○ ○ ○ ● ○	
	○ ○ ○ ○ ●	

↑
切り替わる順番

お尻を乾かす

温風で乾かす(温風乾燥)

温風が出て、シャワーでぬれた部分を乾燥します。
[乾燥]を押すと温風が出ます。[止]を押すと温風が止まります。



- 補足 | • この機能がついていない機種があります。
(☞ 17 ページ)
• 洗浄後、トイレットペーパーでお尻の水滴を軽く取ってから [乾燥] を押せば、素早く乾燥できます。

乾燥中に温風温度を調節する

初期設定 中

温風乾燥中に [乾燥] を押すたびに、温風温度が「中」、「高」、「低(切)」の順に切り替わります。

- 補足 | • 4 分後に自動停止する「セルフストップ機能付」です。

乾燥温度ランプの表示 (○: 消灯、●: 点灯)



- 補足 | • 乾燥を止めた後は、初めの設定温度に戻ります。

温風温度の設定を切り替える

初期設定 中

「温風乾燥」の開始温度の設定を変更できます。[止]と[乾燥]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、温風温度の開始温度が「中」、「低(切)」、「高」の順に切り替わります。

乾燥中の温風温度と開始温度の切替え順

セット操作	開始温度	使用中、[乾燥]を押したときの温度の切り替わり方		
		1回目	2回目	3回目
初期設定	中	→ 高	→ 低	→ 中
1度目	低	→ 中	→ 高	→ 低
2度目	高	→ 中	→ 低	→ 高

- 補足 | • 設定の切り替え (☞ 20 ページ)

水を流す

洗浄について

自動で洗浄、リモコンで洗浄、本体の洗浄ハンドルで洗浄する3種類があります。

自動で水を流す(フルオート便器洗浄)

便座から立ち上がると、自動で水が流れます。

 **補足** • この機能がついていない機種があります。
(☞ 17ページ)

■設定を切り替える

初期設定 入(6秒)

[自動洗浄]を1回押すと、「自動洗浄」の設定を確認できます。設定を切り替えるには5秒以内にもう1回押してください。「入」「切」が切り替わります。



大洗浄と小洗浄の区別

洗浄の種類	洗浄の条件	洗浄のタイミング
大洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・50秒以上便座に座る ・50秒未満便座に座り、「おしり洗浄」を使用した場合 	立ち上がってから6秒後
小洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち小用で便座を上げて便器の前に6秒以上立つ 	立ち去って約1秒後

■洗浄までのタイミングを切り替える

初期設定 6秒

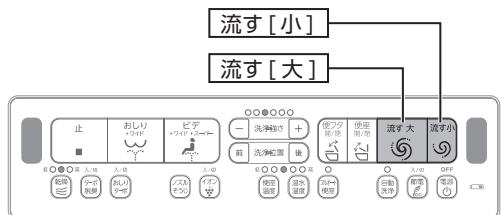
便座から立ち上がってから、水を流すまでの時間を4段階に切り替えることができます。[止]と[ノズルそうじ]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、水を流すまでの時間が「6秒」、「10秒」、「15秒」、「2秒」の順に切り替わります。

→ 6秒 → 10秒 → 15秒 → 2秒 →

水を流す

リモコンで水を流す

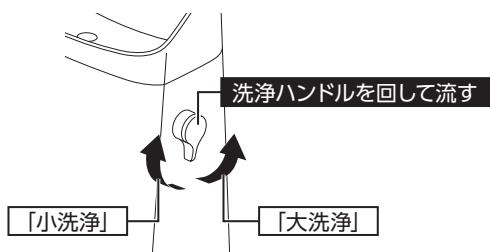
壁リモコンの流す [大] 流す [小] を押すと、水が流れます。



補足 | •紙を多量に使用した場合は、流す [大] を押してください。

洗浄ハンドルで水を流す

洗浄ハンドルで水を流すことができます。



便フタを閉じて水を流す

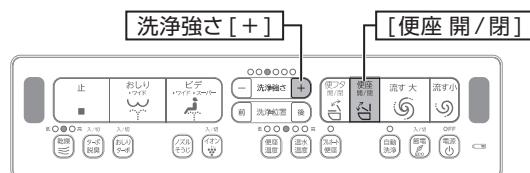
「入」に設定すると、便フタが自動で閉じてから、水が流れます。

- 補足 |
- 水が流れる前に、便フタが先に閉じます。
 - この機能がついていない機種があります。
(☞ 17 ページ) (フルオート便座)
 - 便フタが閉じるととき「ピッピッピッピー」と音が鳴ります。
 - 着座中・立ち小用時に、壁リモコンの流す [大] 流す [小] を押すと、便フタが開いたまま水が流れます。
 - 便フタが閉まってから約 30 秒間は自動で開きません。

設定を切り替える

初期設定 切

[便座 開 / 閉] と洗浄強さ [+] を同じタイミングで 2 秒以上押してください。同じ操作をするたびに、「入」「切」が切り替わります。



補足 | •設定の切り替え (☞ 20 ページ)

・自動で水を流す場合

便座から立ち上ると、便フタが自動で閉じてから、水が流れます。

・リモコンで水を流す場合

壁リモコンの流す [大] 流す [小] で操作すると、便フタが自動で閉じてから、水が流れます。

水を流す

■便フタが閉じるまでのタイミングを切り替える

初期設定 6秒

便座から立ち上がってから、便フタが閉まり始める時間を4段階に切り替えることができます。
[止]と[ノズルそうじ]と同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、便フタが閉まり始めるまでの時間が「6秒」、「10秒」、「15秒」、「2秒」の順に切り替わります。

→ 6秒 → 10秒 → 15秒 → 2秒 →

流す水の量を増やす / 戻す (フルオート便器洗浄付の場合)

便器洗浄の水量を最大水量の大洗浄8L・小洗浄6Lに増やします。増やした水の量は元に戻せます。

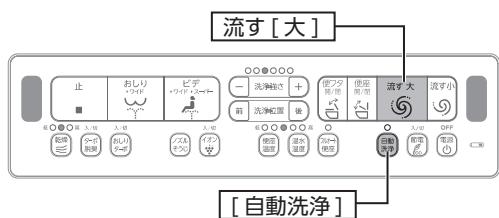
補足 | •本体の洗浄ハンドルで洗浄する場合はお客様で水量の変更ができません。変更をしたい場合は、LIXIL修理受付センターまでご相談ください。

■設定を切り替える

初期設定 仕様 (☞ 79 ページ)

[自動洗浄]と流す[大]と同じタイミングで2秒以上押してください。

洗浄水量を初期設定に戻す場合は、洗浄位置[後]と流す[大]と同じタイミングで2秒以上押してください。



補足 | •設定の切り替え (☞ 20 ページ)

脱臭する

脱臭について

フルオート便座付の場合、便フタが開くと自動的に脱臭を開始します。
着座中は「パワー脱臭」、立ち上がるときより強力な「フルパワー脱臭」へ自動で切り替わりにおいを吸引します。

自動で脱臭する (Wパワー脱臭)

状況に合わせた強さで脱臭します。

脱臭モード切り替わり (フルオート便座付の場合)

状況	脱臭モード
トイレに近づく(便フタが開く)	フルパワーモード(強力脱臭)
座っている	パワーモード(通常脱臭)
立ち上がる	フルパワーモード(強力脱臭)
立ち上がってから1分後	自動停止

脱臭モード切り替わり(フルオート便座なしの場合)

状況	脱臭モード
座っている	パワーモード(通常脱臭)
立ち上がる	フルパワーモード(強力脱臭)
立ち上がってから1分後	自動停止

■設定を切り替える

初期設定 入

[止]と[ビデ]と同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

補足 | •設定の切り替え (☞ 20 ページ)

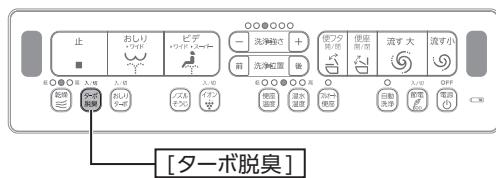
脱臭する

さらに強く脱臭する（ターボ脱臭）

自動脱臭時より、さらに強力に便鉢のにおいを吸引します。

■設定を切り替える

自動脱臭作動中に、[ターボ脱臭]を押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



補足 • 脱臭ファンは、立ち上がってから1分後に自動停止します。

⇒自動脱臭を常にターボモードにする

脱臭時は、常にターボモードで便鉢内においを除去します。

■設定を切り替える

初期設定 切

[止]と[ターボ脱臭]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

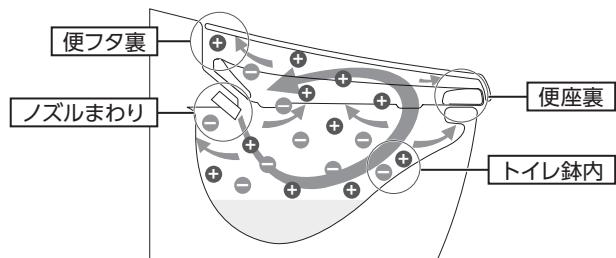


補足 • 設定の切り替え（☞ 20 ページ）

イオンで除菌する

鉢内除菌について

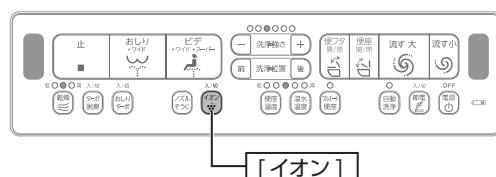
プラスマクラスターイオンがトイレの鉢内に行き渡り、水のかからない便座裏や便器内を除菌します。トイレのにおいの元となる原因菌を除菌することで、においの発生を抑えます。



補足 • 作動時はファンの送風音がします。
• イオン発生器で発生するオゾンにおいがすることがありますが、濃度はごくわずかで、健康上問題ありません。
• イオンについて、詳細は仕様ページに掲載しています。（☞ 80 ページ）

自動で鉢内除菌する

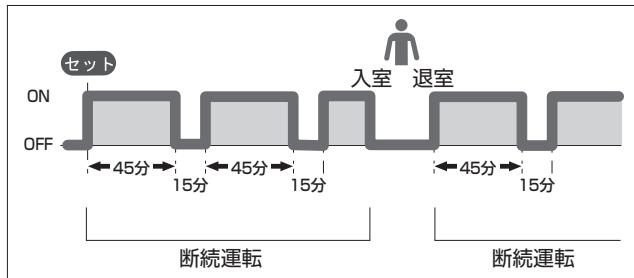
[イオン]を押して「入」に設定し、便フタが閉じると自動で断続運転を始めます。



補足 • 「鉢内除菌」を使用する場合は、「フルオート便座」を「入」にしてください。（☞ 26 ページ）
• または、トイレを使用した後に手で便フタを閉じてください。

イオンで除菌する

「鉢内除菌」の断続運転サイクル

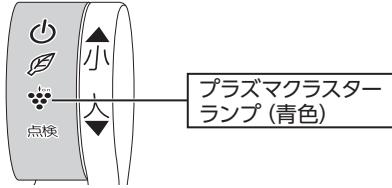


■設定を切り替える

初期設定 切

[イオン] を押すたびに、「入」「切」が切り替わります。

補足 • 「鉢内除菌」が「入」の場合は、プラズマクラスター ランプが点滅します。



• 「鉢内除菌」の作動時は、便鉢内が青く光ります。設定で消灯できます。
(☞ 32 ページ)

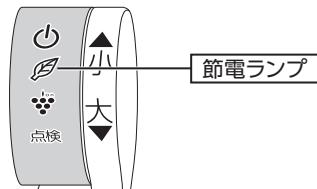
節電する

節電について

節電機能には、「ワンタッチ節電(8時間)」と「スーパー節電(常時)」の2種類があります。

補足 • 節電機能を使用しない場合でも、トイレを使用していないときに便フタを閉じておくと節電に効果的です。

「節電ランプ」で、節電機能の状態が確認できます。



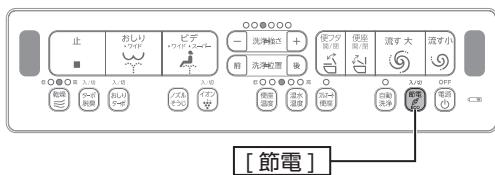
節電機能時の節電ランプ状態

節電機能	節電中	待機中
切	消灯	消灯
ワンタッチ	点灯	点滅
スーパー	2回点滅	—
併用	ワンタッチ節電中 点灯	—
	ワンタッチ節電待機中 2回点滅	—

節電する

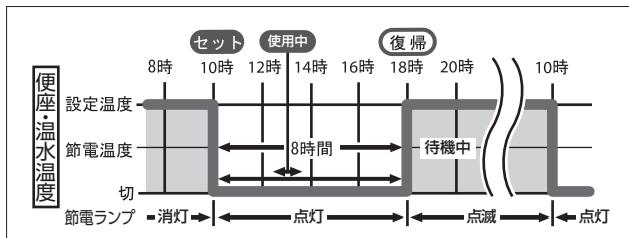
ワンタッチ節電(8時間)を設定する

「ワンタッチ節電」を設定すると、便座と温水のヒーターを8時間「切」にして消費電力を抑えます。毎日同じ時間に節電が作動します。



- 補足**
- 停電時や電源プラグを抜いた場合は、「ワンタッチ節電」の設定がリセットされます。
 - ワンタッチ節電中は使用しても温度は「切」のままでです。

ワンタッチ節電例：10時から18時まで設定した場合



■設定を切り替える

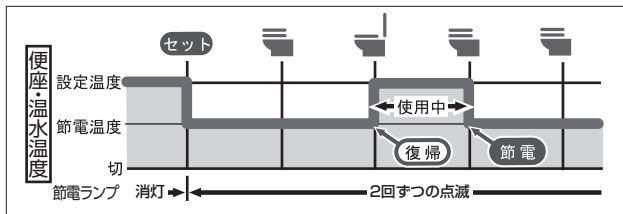
初期設定 切

[節電]を押すたびに「入」「切」が切り替わります。開始したい時刻に[節電]を押してください。

スーパー節電(常時)を設定する

トイレを使用していない場合に、便座と温水の温度を下げて消費電力を抑えます。

スーパー節電設定時の便座温度と節電ランプ



設定を切り替える

初期設定 切

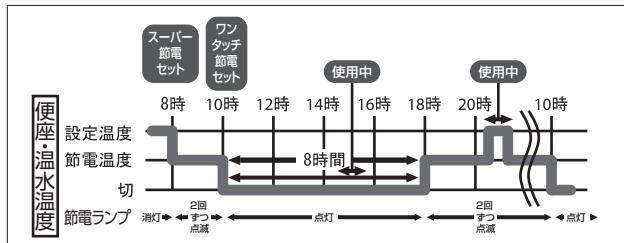
開始したい時刻に[節電]と[ノズルそうじ]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

- 補足**
- 設定の切り替え (☞ 20ページ)

→スーパー節電とワンタッチ節電を併用した場合

「スーパー節電」を設定したうえで、さらに「ワンタッチ節電(8時間)」を併用することで、効果的な節電ができます。

併用例：「ワンタッチ節電」を10時から18時まで設定した場合



お好みの設定にする

お好みの設定について

初期設定を変更することで、お好みのトイレに設定できます。

設定項目一覧

- 補足**
- 機種によっては、一部機能がついていない場合があります。
 - 電源プラグを抜いたり、電源ボタンを「切」にしたりしても変更した設定は記憶されています。
 - 「ワンタッチ節電」は、電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 31 ページ）

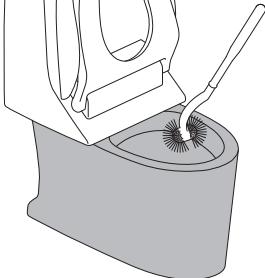
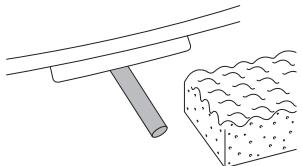
○：保有機能あり　－：保有機能なし

機能		操作ボタン	初期設定	Z6	Z4	Z2	Z1
便器洗浄	便フタを閉じて水を流す（☞ 27 ページ）	便座から立ち上がると、便フタを 6 秒後に自動で閉じてから、水が流れます。	[便座開／閉]+ [洗浄強さ+] (同時に 2 秒以上押す)	切	○	－	－
	フルオート便器洗浄開始時間（☞ 26 ページ）	立ち上がってから洗浄するまでの時間を 6 秒（初期設定）→ 10 秒 → 15 秒 → 2 秒と切り替えます。	[止]+[ノズルそうじ] (同時に 2 秒以上押す)	入 (6 秒)	○	○	－
	洗浄水量を増やす（☞ 28 ページ）	便器洗浄の水量を最大水量の大洗浄 8L・小洗浄 6L に増やします。	[自動洗浄]+[流す大] (同時に 2 秒以上押す)	切	○	○	－
	洗浄水量を元に戻す（☞ 28 ページ）	便器洗浄の水量を出荷時状態に戻します。	[洗浄位置後]+ [流す大] (同時に 2 秒以上押す)	－	○	○	－
便フタ便座開閉	フルオート便座モード切替（☞ 21 ページ）	フルオート便座の動作において、便フタと便座を同時に開けます。	[止]+[便座開／閉] (同時に 2 秒以上押す)	切	○	－	－
	フルオート便座検知時間変更（☞ 21 ページ）	便フタをリモコンまたは手で閉めた後、再度人体検知センサーが働き便フタが開くまでの時間を、15 秒（初期設定）→ 20 秒 → 30 秒 → 5 秒と切り替えます。	[洗浄位置前]+ [流す大] (同時に 2 秒以上押す)	入 (15 秒)	○	－	－
	電動開閉便フタピンを回転させる（☞ 37 ページ）	便フタがうまく取り付けられない場合にピンを回転させてから、便フタを取り付けます。	[ノズルそうじ]+ [温水温度] (同時に 2 秒以上押す)	－	○	－	－
乾燥	温風乾燥始動温度（☞ 25 ページ）	温風乾燥の始めの温度（初期状態：「中」）を「中」→「低（切）」→「高」と切り替えます。	[止]+[乾燥] (同時に 2 秒以上押す)	中	○	－	－
節電	スーパー節電入／切（☞ 31 ページ）	使用していないとき、便座の温度を下げて消費電力を抑えます。	[節電]+[ノズルそうじ] (同時に 2 秒以上押す)	切	○	○	○
照明	青ライト OFF 入／切（☞ 30 ページ）	鉢内除菌の青ライトを常時「切」にします。	[節電]+[ビデ] (同時に 2 秒以上押す)	切	○	○	－
便座温度	便座ヒーター オート OFF 入／切（☞ 22 ページ）	便座に座ると自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドを起こしにくします。	[おしりターボ]+[ビデ] (同時に 2 秒以上押す)	切	○	○	○
脱臭	脱臭入／切（☞ 28 ページ）	自動脱臭を「切」にします。	[止]+[ビデ] (同時に 2 秒以上押す)	入	○	○	○
脱臭	常時ターボモード入／切（☞ 29 ページ）	自動脱臭を常にターボモードにします。	[止]+[ターボ脱臭] (同時に 2 秒以上押す)	切	○	○	○
その他	設定初期化	お買い上げ時の設定に戻すことができます。	[洗浄位置前]+[節電] (同時に 2 秒以上押す)	－	○	○	○
	リモコン操作音 OFF 入／切	操作時に本体から鳴るリモコン操作音を消すことができます。	[止]+[おしりターボ] (同時に 2 秒以上押す)	入	○	○	○

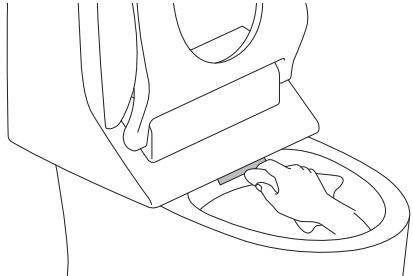
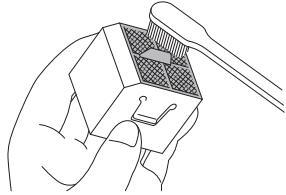
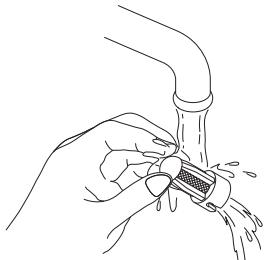
お手入れガイド

ふだんのお掃除・お手入れ

部位別にお掃除・お手入れの頻度の目安を示しています。お掃除・お手入れ方法の詳細は参照先をご覗ください。

お掃除場所と汚れの種類	お掃除道具	お手入れの頻度	参照ページ
トイレのプラスチック部分 (便座、便フタ、手洗鉢、 手洗吐水口、カバー類、 リモコン) ほこり、手アカ、小水のしみ	 柔らかい布	毎日	36
便器 カビ、バクテリアの発生、尿石	 トイレ用ブラシ スポンジ	毎日	38
本体と便器のすきま ほこり、手アカ、小水のしみ	 柔らかい布	月に1回	38
ノズル カビ、水アカ、小水のしみ	 スポンジ	月に1回	40

お手入れガイド

お掃除場所と汚れの種類	お掃除道具	お手入れの頻度	参照ページ
ノズルシャッター 水アカ、小水のしみ	 柔らかい布	基本的なお手入れ 毎日 取り外してお手入れ 月に1回	43
脱臭カートリッジ ほこり	 歯ブラシ	月に1回	45
ストレーナー 水アカ、異物	 —	2年に1回	47

お手入れの準備をする

掃除道具

種類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオルやTシャツを適當なサイズに切って使用してください。	便座・便フタ・手洗鉢・手洗吐水口・カバー類・便器部
スポンジ	小さくて、できるだけ柔らかなものを使用してください。	ノズル先端・便器部
トイレ用ブラシ	研磨材付きや金属製のブラシは、陶器表面にキズを付けるおそれがあるので使用しないでください。	便器部
ゴム手袋	手荒れ防止のために使用してください。	—
歯ブラシ	使い古したものを使用してください。	脱臭カートリッジ・便器吐水口

LIXILのお掃除グッズ (☞76ページ)

種類		使う場所
トイレ用おそうじティッシュ	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後は、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッとかけて拭き取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使用できます。	便座・便フタ・カバー類・便器部
お掃除ブラシ	便器のアクアセラミック表面にキズを付けません。便鉢の裏側まできれいにできます。	便器部

洗剤

■ 便器部に使う洗剤

□ アクアセラミックについて

便器は「アクアセラミック」です。「アクアセラミック」は親水性が高く、鉢面に付着した汚物が落ちやすいため、お掃除が不要になるものではありません。

△ 注意

- 便器には次の洗剤や道具を使用しない
 - 強いアルカリ性の洗剤または漂白剤
 - 研磨剤入りの洗剤
 - フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）
 - 撥水作用や表面コート作用がある洗剤やお掃除道具
 - 金属製や研磨剤入りのブラシのように表面を傷つけるお掃除道具

種類		使う場所
トイレ用中性洗剤	便器（陶器部）の黄ばみや黒ずみを落とします。スタンプ式洗剤を使用している場合、貼り位置によっては洗剤不良や飛び散りが発生するおそれがあります。	便器部
研磨剤なしの洗剤		

■ プラスチック部に使う洗剤

△ 注意

- 便座に使用できる洗剤を使用する
 - 次の洗剤を使用しない
 - トイレ用洗剤
 - 住宅用洗剤
 - 漂白剤
 - ベンジン
 - シンナー
 - クレンザー
 - クレゾール

(故障、けが、感電、火災のおそれ)

プラスチック部分のお手入れ

基本的なお手入れ

お手入れの目安 毎日

便座、便フタ、カバー類、リモコンを掃除します。汚れは放っておくと落ちにくくなります。固くしぼった柔らかい布でこまめに水拭きしてください。



- 補足
- リモコンを掃除する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - お掃除アイテムは、当社純正品をおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(☞ 76 ページ)

便フタを外して掃除する

お手入れの目安 月に1回

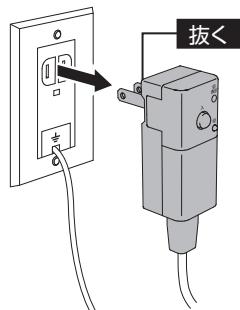
便フタは簡単に外せます。トイレ本体や便フタのすきま、ヒンジ部を掃除できます。

動画で確認

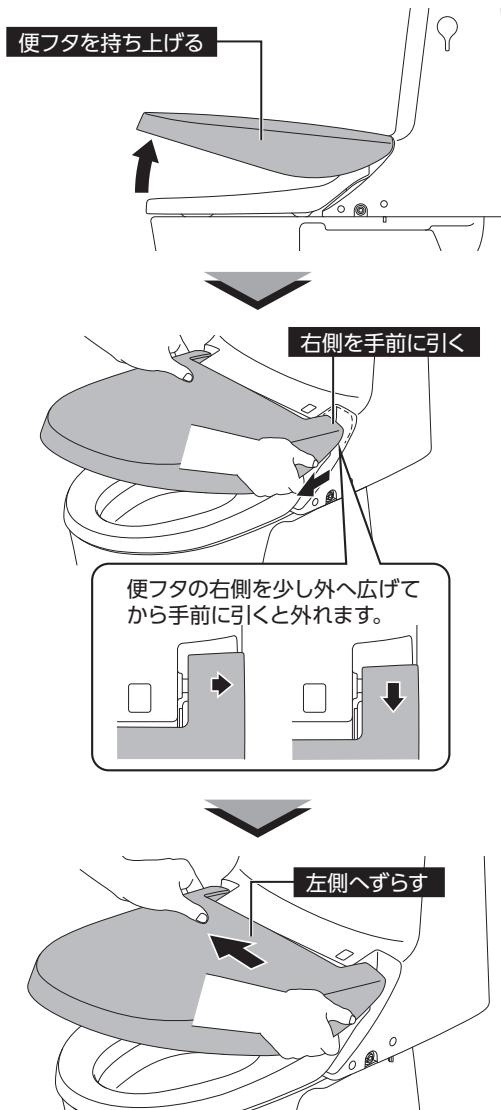
プラスチック部分のお手入れ



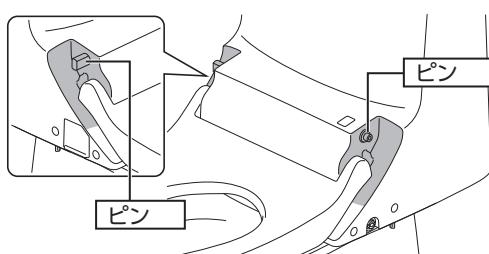
1 電源プラグをコンセントから抜く



2 便フタを外す



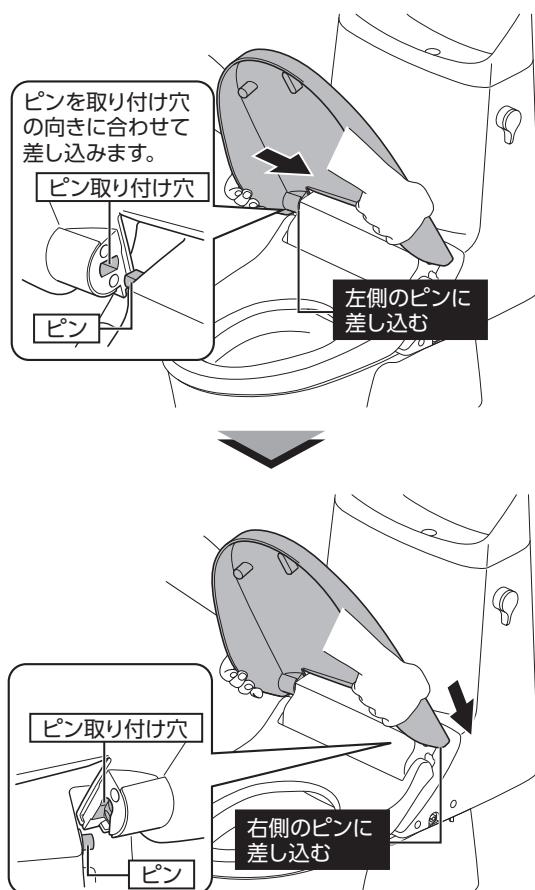
3 ピンと、その周辺を柔らかい布で水拭きする



- 補足
- 便フタが汚れている場合は、丸洗いすることができます。

プラスチック部分のお手入れ

4 便フタを取り付ける



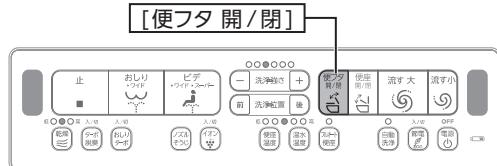
5 電源プラグをコンセントに差し込む

■便フタがうまく取り付けられない場合

左側のピンが、回転して位置がズレている可能性があります。[ノズルそじ]と[温水温度]を同じタイミングで2秒以上押してください。左側のピンが奥に回転し、便フタが取り付けやすくなります。

補足 • フルオート便座機能がついている機種のみこの操作ができます。(☞ 17ページ)

6 便フタが開閉することを確認する



補足 • フルオート便座機能がついていない場合は手動で便フタを開閉してください。

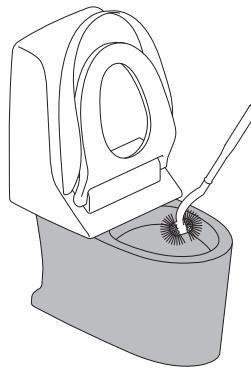
便器のお手入れ

基本的なお手入れ

お手入れの目安

毎日

柔らかいブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗います。



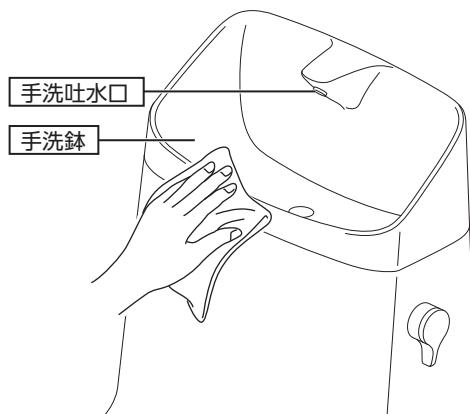
補足 • お掃除アイテムは、当社純正品をおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(☞ 76 ページ)

手洗鉢と手洗吐水口を掃除する (手洗付の場合)

お手入れの目安

毎日

手洗鉢と手洗吐水口は、柔らかい布やスポンジで水拭きします。



本体と便器のすきまのお手入れ

本体を浮かせて掃除する (お掃除リフトアップ)

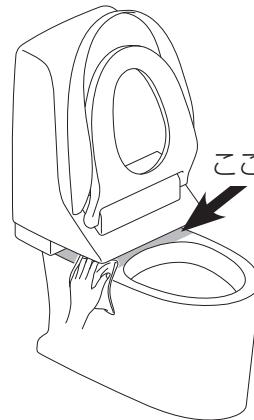
お手入れの目安

月に1回

真上にしっかりと上がり、お掃除できなかった便器とのすき間をラクラクお掃除できます。

動画で確認

本体と便器のすきまのお手入れ



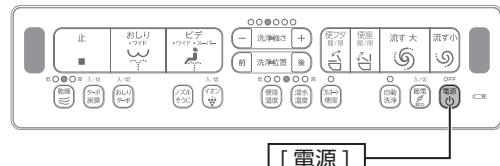
補足 • お掃除アイテムは、当社純正品をおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(☞ 76 ページ)

1

手洗吐水口の水が止まっていることを確認する
(手洗付の場合)

2

[電源] を押して「切」にする



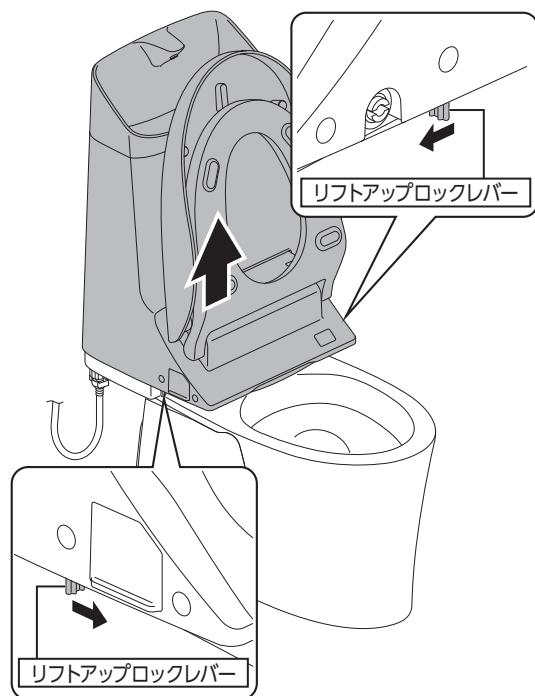
補足 • 本体表示部の「電源ランプ」(緑色)の消灯を確認してください。リモコンの電源 OFF ランプは、数秒点灯します。

3

便フタと便座を開く

本体と便器のすきまのお手入れ

- 4** 本体両側のリフトアップロックレバーを手前側に引きながら、静かに持ち上げる



補足 • 本体が水平に安定することを確認してください。

- 5** すきまを、柔らかい布で水ぶきする

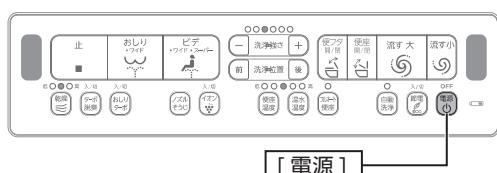
- 6** 便フタと便座をゆっくり閉じる

- 7** 本体を上から軽く押さえ、「カチッ」と音がするまで押し下げる



補足 • 洗浄ハンドルを持ちながら本体を押し下げると、破損するおそれがあります。

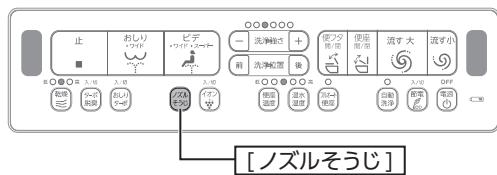
- 8** [電源] を押して「入」にする



ノズルのお手入れ

基本的なお手入れ

便座に座っているときに、お好みのタイミングでノズルを洗うことができます。
ノズルが本体に収納されたまま、自動洗浄します。



- 補足** • 「おしり洗浄」「ビデ洗浄」の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する「オートクリーニング機能」が付いています。

ノズルを掃除する

お手入れの目安

月に1回

「おしりノズル」、「ビデノズル」を順に掃除します。

動画で確認

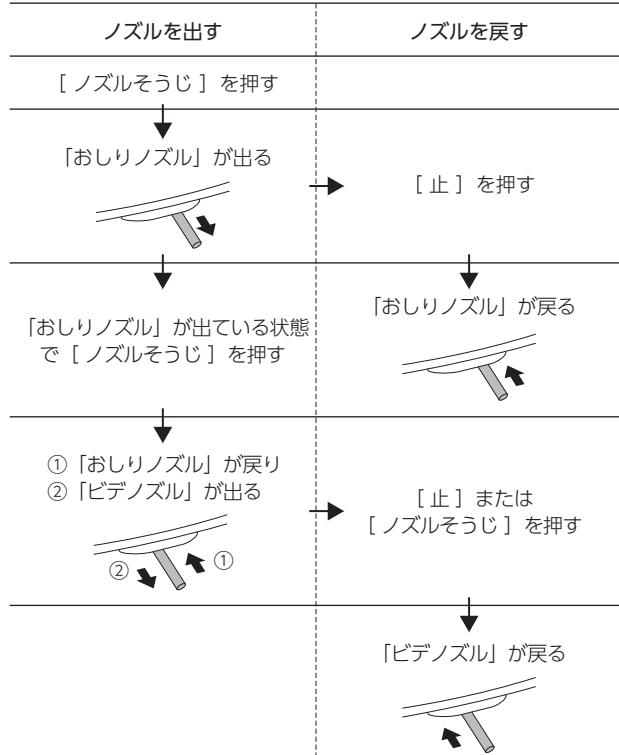
ノズルのお手入れ



- △ 注意** • 歯ブラシでこすらない
(キズの原因)
• 「おしりノズル」「ビデノズル」を無理やり手で引つ張り出したり、押し戻したりなどの強い力をかけない
(故障、動作不良の原因)

- 補足** • [止] を押すとノズルは戻せます。
• 「おしりノズル」「ビデノズル」の先端は交換できます。(☞ 42 ページ)

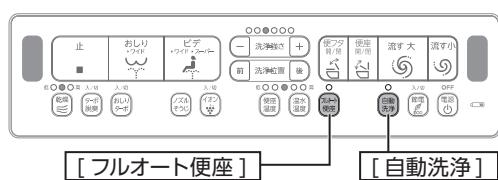
「おしりノズル」、「ビデノズル」の出し方と戻し方



- 補足** • ノズルは約 5 分たつと自動で戻ります。

1

「自動洗浄」と「フルオート便座」を「切」にする



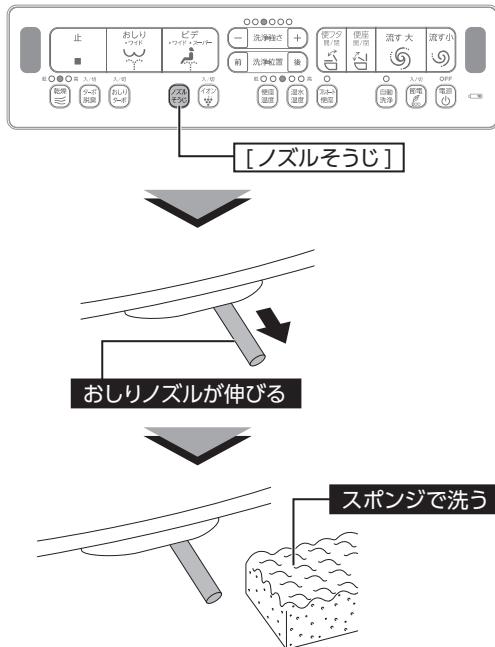
- 補足** • 機種によっては、機能がついていない場合があります。(☞ 17 ページ)

2

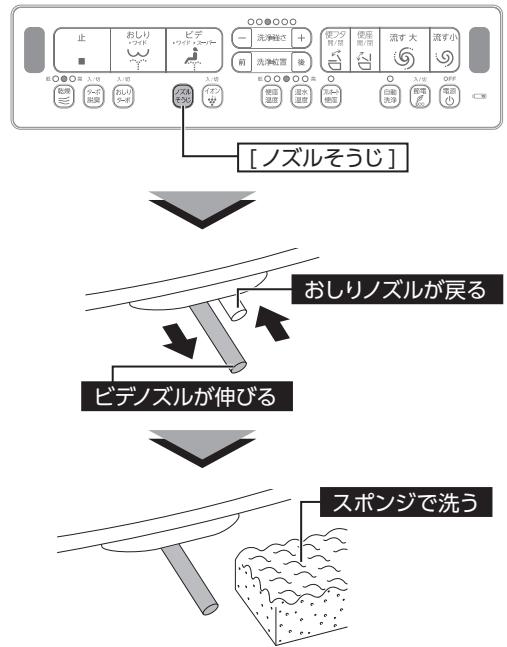
便フタと便座を開く

ノズルのお手入れ

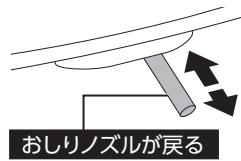
3 「おしりノズル」を洗う



5 「ビデノズル」を洗う

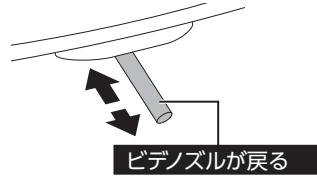


4 「おしりノズル」が戻る



- 補足**
- ・[ノズルそうじ]を押すと、「おしりノズル」が戻り「ビデノズル」が伸びます。
 - ・「おしりノズル」が戻るときに少しだけ前に数秒間出てから戻ります。
 - ・「おしりノズル」は約5分たつと自動で戻ります。

6 「ビデノズル」が戻る



- 補足**
- ・「ビデノズル」が戻るときに、少しだけ前に数秒間出てから戻ります。
 - ・「ビデノズル」は約5分たつと自動で戻ります。

ノズルのお手入れ

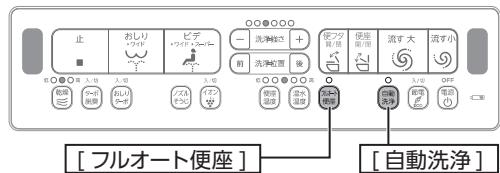
ノズル先端を交換する

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ取り外して洗えたり、交換したりできます。

△ 注意 • ○ リングを傷つけない
(漏水の原因)

◆ 補足 • お求めは、別売品の購入方法をご参照ください。(☞ 76 ページ)

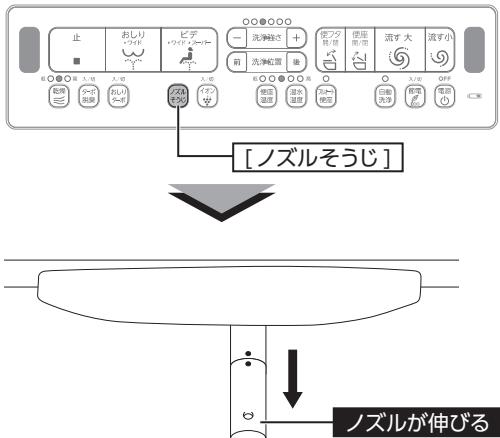
1 「自動洗浄」と「フルオート便座」を「切」にする



◆ 補足 • 機種によっては、機能がついていない場合があります。(☞ 17 ページ)

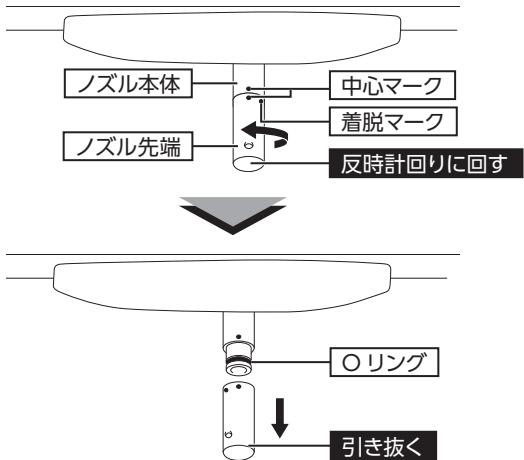
2 便フタと便座を開く

3 ノズルを出す



◆ 補足 • 「ノズルを掃除する」と同じ手順でノズルが出ます。(☞ 40 ページ)

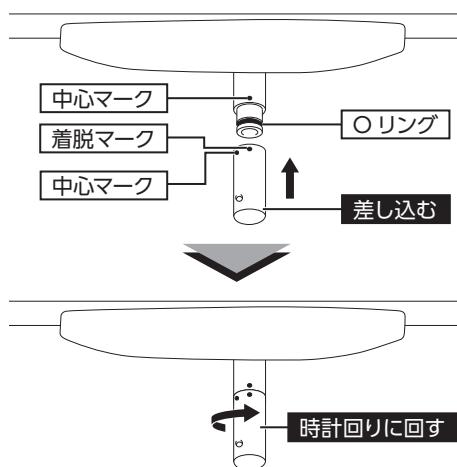
ノズル先端を取り外す



◆ 補足 • ノズルを少し引き出すようにして、ノズル奥側を手でおさえてください。

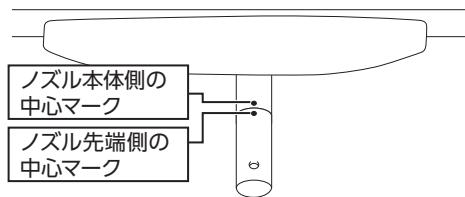
5 ノズル先端を取り付ける

◆ 補足 • ノズル先端を取り付ける前にノズルが戻ってしまった場合は、手順 3 に従いノズルを出してください。



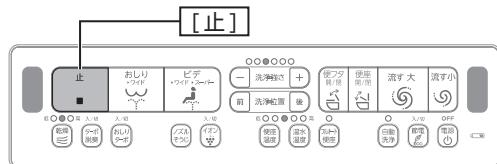
ノズルのお手入れ

6 結合部を確認する



- △ 注意
- 取り付け後に次のことを確認する
 - ・ノズル本体と先端の中心マークが合っていること
 - ・結合部に隙間がなく、平らになっていること
 - (故障のおそれ・シャワー洗浄の角度がかわってしまうおそれ)

7 ノズルを戻す



- △ 注意
- ノズルに強い力をかけない
 - ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしない
(破損のおそれ・故障の原因)
 - 歯ブラシでこすらない
(キズの原因)

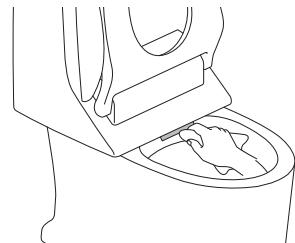
- ◆ 補足
- 誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど待ってから再び電源プラグを差し込んでください。

ノズルシャッターのお手入れ

基本的なお手入れ

お手入れの目安 毎日

柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で拭いてください。



ノズルシャッターを取り外して掃除する

お手入れの目安 月に1回

動画で確認

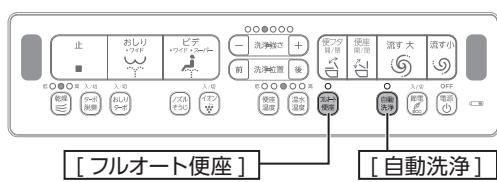
ノズルシャッターのお手入れ



- ◆ 補足
- 「ノズルシャッター」は交換できます。
(☞ 76 ページ)

1

「自動洗浄」と「フルオート便座」を「切」にする

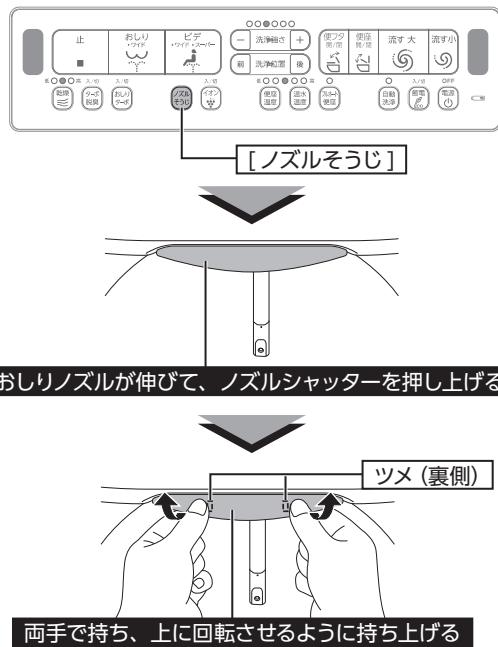


- ◆ 補足
- 機種によっては、機能がついていない場合があります。(☞ 17 ページ)

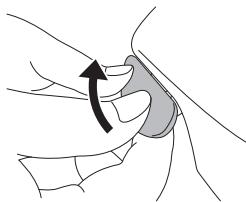
2 便フタと便座を開く

ノズルシャッターのお手入れ

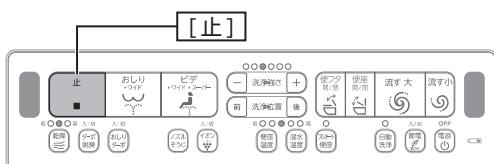
3 「ノズルシャッター」を取り外す



- 補足**
- 「ノズルシャッター」の裏側にあるツメのあたりを持ちます。
 - 持ち上げるときに、次の図のように回転させるように持ち上げて外してください。



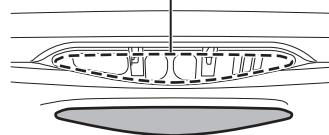
4 「ノズルシャッター」を柔らかい布で水拭きする



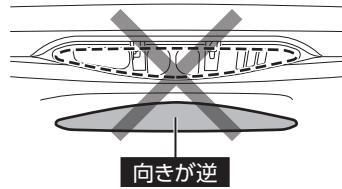
5 「おしりノズル」を戻す

6 「ノズルシャッター」を取り付ける

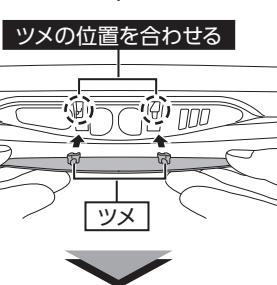
ノズルシャッターの向きを本体に合わせる



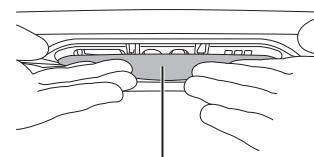
- 補足**
- 「ノズルシャッター」の向きが逆になると正しく取り付けることができません。



向きが逆



ツメの位置を合わせる



「カチッ」と音がするまで押し込む

- △ 注意**
- 「ノズルシャッター」に強い力をかけない
(破損のおそれ)

脱臭カートリッジのお手入れ

基本的なお手入れ

お手入れの目安 月に1回

「脱臭カートリッジ」にホコリや汚れが付着すると、十分な脱臭ができなくなります。

動画で確認

脱臭カートリッジのお手入れ



△ 注意 | •「脱臭カートリッジ」を水洗いしない

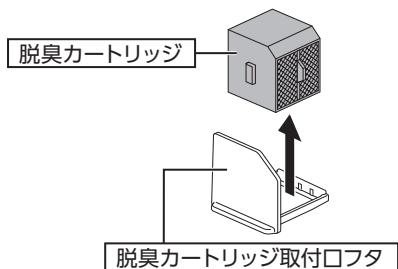
- 補足 | •「脱臭カートリッジ」は交換できます。
(☞ 76 ページ)
•「脱臭カートリッジ」の交換目安は、約7年です。
→「脱臭カートリッジ」の寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

1 電源プラグをコンセントから抜く

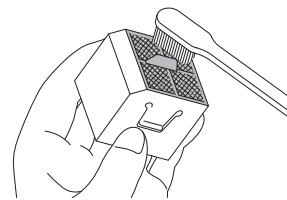
2 脱臭カートリッジ取付口フタを取り外す



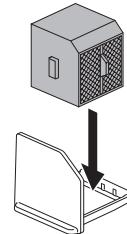
3 脱臭カートリッジ取付口フタから「脱臭カートリッジ」を取り出す



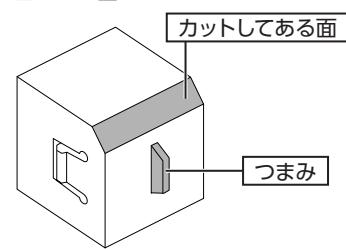
4 フィルターのホコリや汚れを取り除く



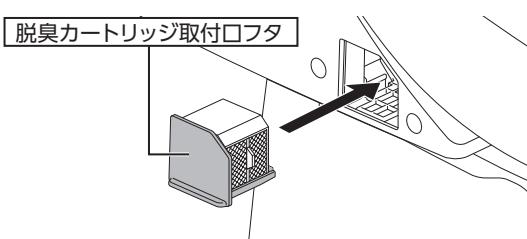
5 「脱臭カートリッジ」を脱臭カートリッジ取付口フタに取り付ける



- 補足 | •カットしてある面が上になり、つまみが正面になるように脱臭カートリッジ取付口フタに置いてください。



6 脱臭カートリッジ取付口フタを取り付ける



7 電源プラグをコンセントに差し込む

サイドカバーの取外し / 取付け

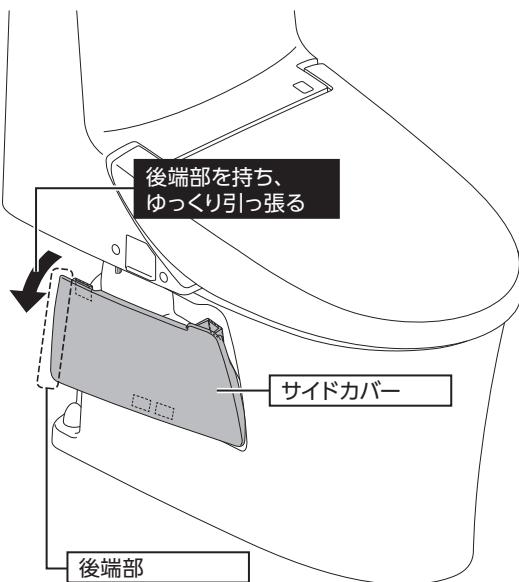
動画で確認

サイドカバーの取外し/取付け



サイドカバーを取り外す

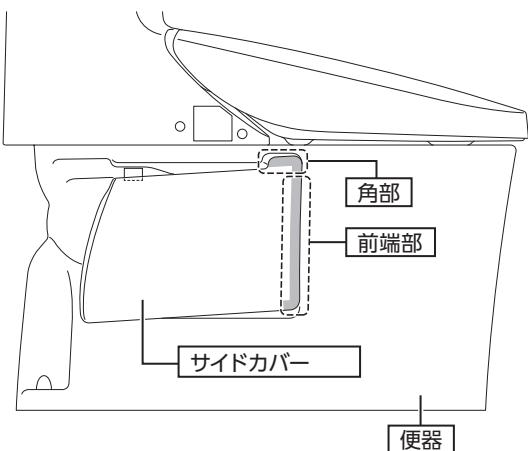
1 「サイドカバー」を取り外す



△ 注意 | • 防露材は取り外さない
(結露して床を濡らす原因)

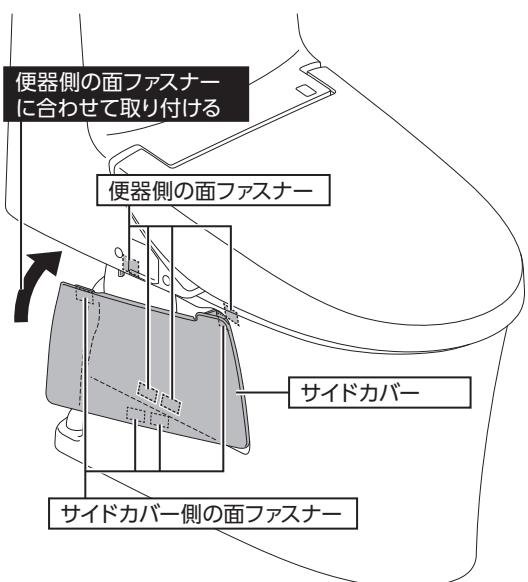
サイドカバーを取り付ける

1 「サイドカバー」の前端部と角部を便器に合わせる



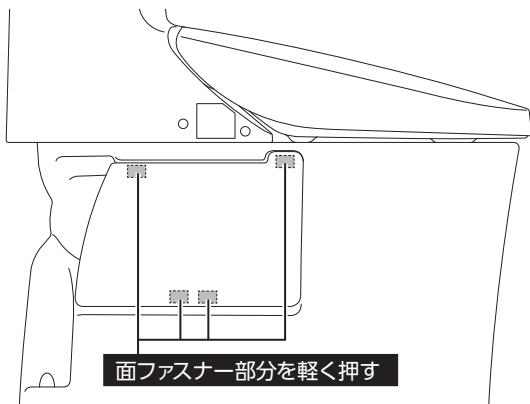
◆ 補足 | • すきまが目立たないように仮付けしてください。

2 「サイドカバー」を取り付ける



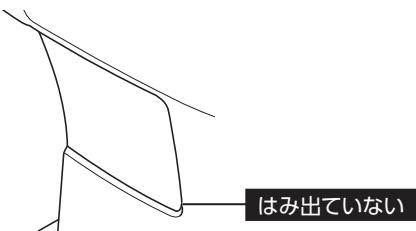
サイドカバーの取外し / 取付け

3 面ファスナー部分を軽く押す

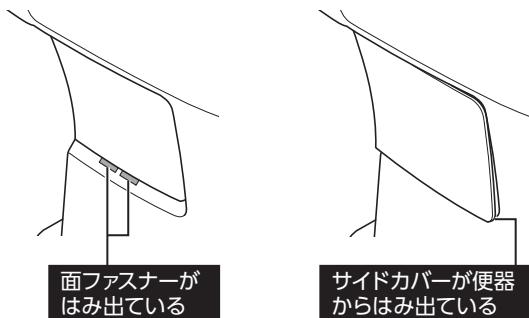


4 正しく取り付いていることを確認する

■正常な状態



■しっかり取り付いていない状態



ストレーナーのお手入れ

ストレーナーを取り外して掃除する

お手入れの目安 2年に1回

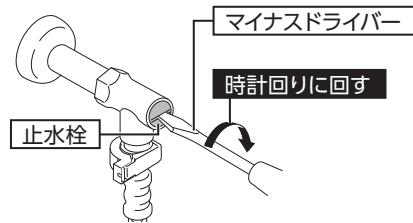
「ストレーナー」は水道水の異物を除去します。長期間使用して、ロータンクへの給水時間が長くなったりシャワーの勢いが弱くなったりし始めたら、「ストレーナー」を掃除してください。

動画で確認

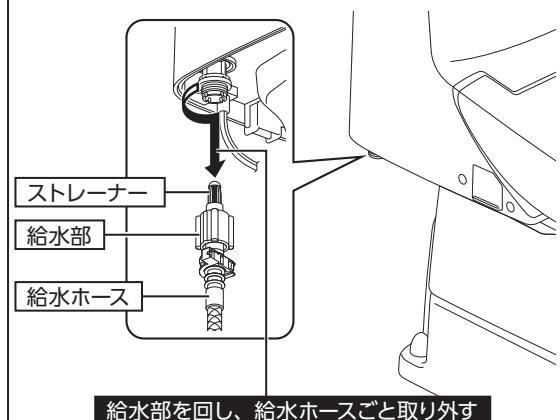
ストレーナーのお手入れ



1 止水栓を閉める



2 給水ホースを取り外す

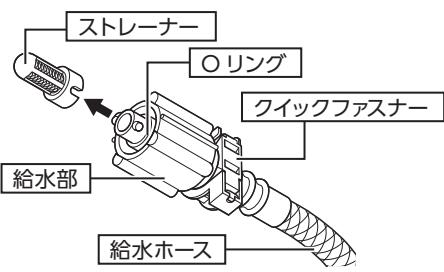


補足 •取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで水を受けてください。

3 給水ホース内の水を完全に抜く

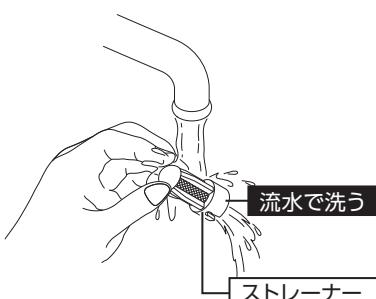
ストレーナーのお手入れ

4 給水部から「ストレーナー」を取り外す



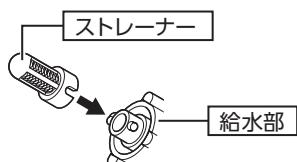
補足 取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで水を受けてください。

5 「ストレーナー」やOリングに付着したゴミを取り除く

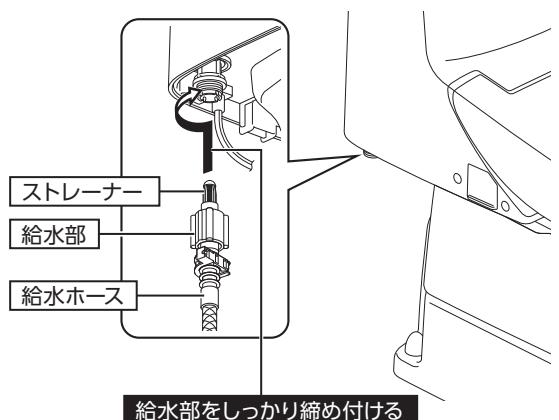


補足 ストレーナーやOリングにキズを付けないでください。(☞9ページ)
水洗いで取れないゴミは、歯ブラシなどを使い洗い落としてください。

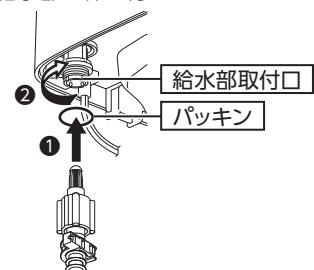
6 給水部に「ストレーナー」を取り付ける



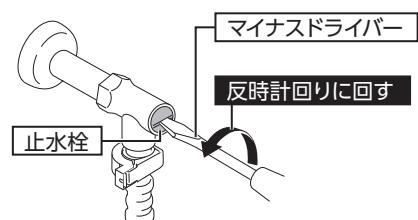
7 給水ホースを取り付ける



補足 締付け後、再度増し締めをし、緩みがないことを確認してください。
パッキンが落ちてきたとき、またはうまく締付けられないとき。
①パッキンを給水部取付口に引っ掛ける。
②給水部を締め付ける。



8 止水栓を開く



補足 全開にした後、固着防止のため1/4回転程度戻してください。

9 給水部から水漏れしていないことを確認する

断水したとき

バケツで水を入れて流す

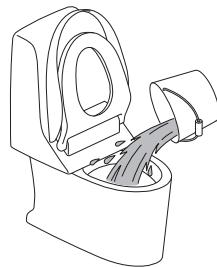
動画で確認

断水時の便器洗浄



- 補足 | • 排水管に汚物が残ることを防止するため、2~3回の使用に1度は、バケツ2杯程度の水を流してください。

1 バケツ1杯(5L~6L)の水を一気に流し込む



- △ 注意 | • コンセント部分に水をかけない
(漏電・故障のおそれ)

2 汚物が流れたことを確認する

- 補足 | • 汚物が流れない場合は、もう一度より早く、一気に水を流し込んでください。

3 1L~2Lの水を便器内に注ぐ

- 補足 | • ロータンクに直接水を入れないでください。

4 便鉢内に水が溜まっていることを確認する

凍結しそうなとき

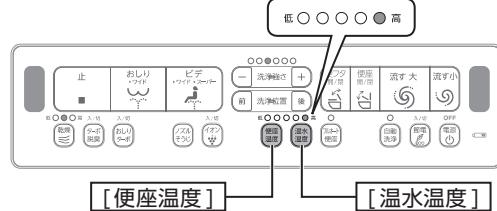
凍結防止について

冷え込みが厳しい場合は、トイレ本体内の水が凍結し、破損することがあります。
凍結のおそれがある場合は必ず操作を行ってください。

室内を暖房できる場合

温度を高くしてあたためる

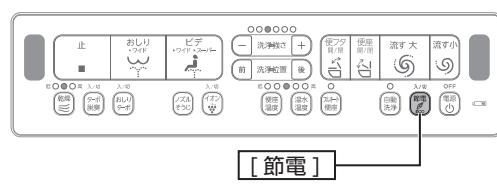
1 温水温度・便座温度を「高」にする



- 補足 | • 便座温度の設定方法 (☞ 22ページ)
• 温水温度の設定方法 (☞ 24ページ)

2 便フタを閉じる

3 節電を解除する



- 補足 | • 節電の設定方法 (☞ 30ページ)

4 「節電ランプ」が消灯したことを確認する

- 補足 | • トイレ本体各部の名称 (☞ 11ページ)

5 室内をあたためる

凍結しそうなとき

室内を暖房できない場合

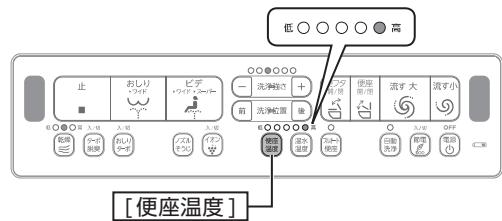
■自動で水を流す(流動方式)

流動ダイヤル操作から約1分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れようになり、凍結を防ぎます。

△ 注意 •給水ホースに熱湯や熱風をかけない
(破損の原因)

◆ 補足 •この機能がついていない機種があります。
(☞ 17ページ)
•次にトイレを使用する前には、「ご使用前の準備と確認」に記載してある手順に従ってください。(☞ 15ページ)
•給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

1 便座温度を「高」にする



◆ 補足 •便座温度の設定方法 (☞ 22ページ)

2 便フタを閉じる

3 節電を解除する

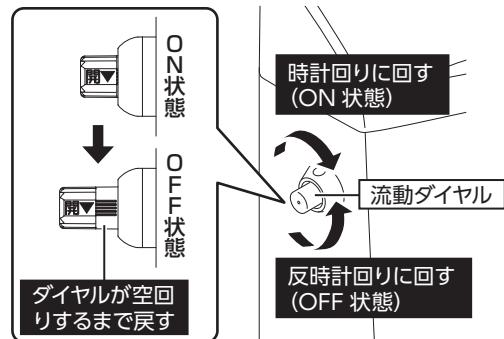


◆ 補足 •節電の設定方法 (☞ 30ページ)

4 「節電ランプ」が消灯したことを確認する

◆ 補足 •トイレ本体各部の名称 (☞ 11ページ)

5 流動ダイヤルを時計回りに回す



◆ 補足 •流動ダイヤルを操作してから約1分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れます。
•流動状態を解除するときは、流動ダイヤルを反時計回りに空回りするまで操作してください。

凍結しそうなとき

■配管や本体などから水を抜く(水抜き方式)

配管やトイレ本体の水を抜いて凍結を防ぎます。
「自動で水を流す(50ページ)」の手順1~4をしたあと、次の手順を行ってください。

- △ 注意
 - ・給水ホースに熱湯や熱風をかけない
(破損の原因)
- ◆ 補足
 - ・この機能がついていない機種があります。
(☞17ページ)
 - ・給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

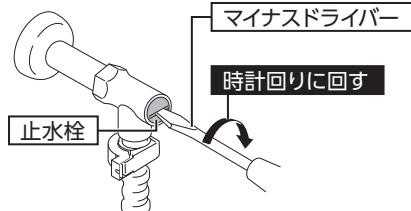
1 室内をあたためる

- ◆ 補足
 - ・室内が暖房できる場合

2 建物の水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

- △ 注意
 - ・水抜栓を操作する場合は、止水栓を閉めない
- ◆ 補足
 - ・水抜栓の詳しい操作方法は、水抜栓の取扱説明書をご参照ください。

3 止水栓を閉める

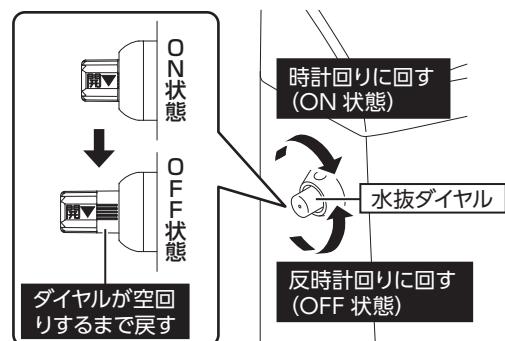


- ◆ 補足
 - ・軽く閉め、止水栓が止まったところからさらに約1/4回転程度閉めてください。

4 流す[大]または本体の洗浄ハンドルを「大」の方へ操作する

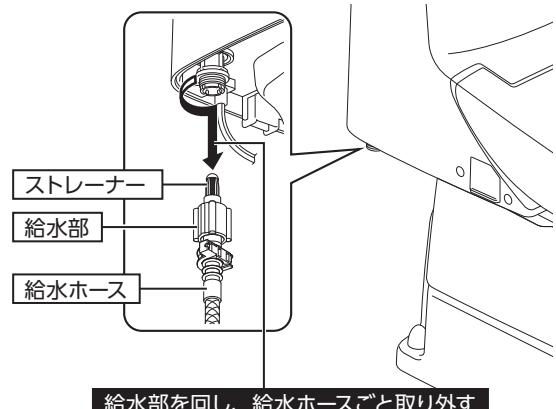
5

水抜ダイヤルがある場合、水抜ダイヤルを時計回りに回して押し込み、反時計回りに空回りするまで回して戻す



- ◆ 補足
 - ・この操作により、ロータンク内の水がより抜けやすくなります。

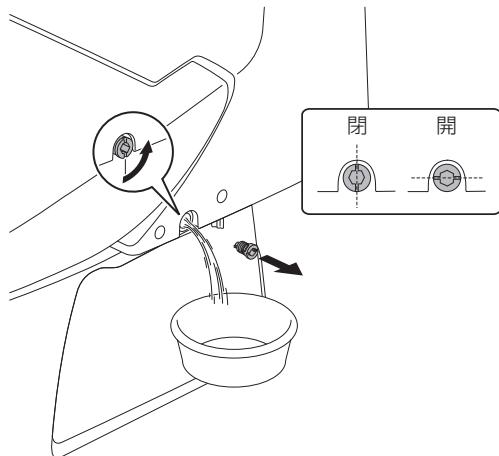
6 給水部から水を抜く



- ◆ 補足
 - ・取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで水を受けてください。

凍結しそうなとき

7 湯水タンクから水抜栓を外して、水を抜く

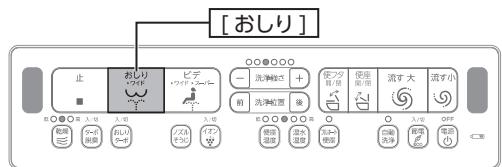


補足 • 取り外すときは水受け (約 1L 以上入るもの) を用意してください。

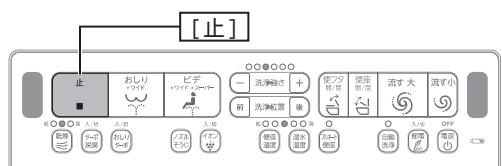
10 本体バルブ内の水を抜く



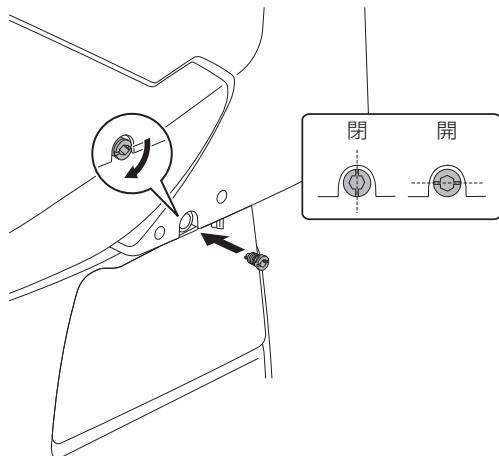
[おしり] を押す



約 5 秒後、[止] を押す



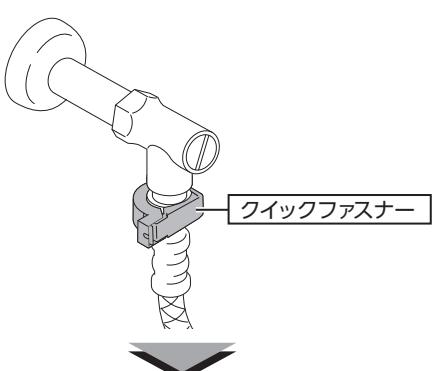
8 水抜き完了後、水抜き栓を取り付ける



9 水抜栓部から水漏れしていないことを確認する

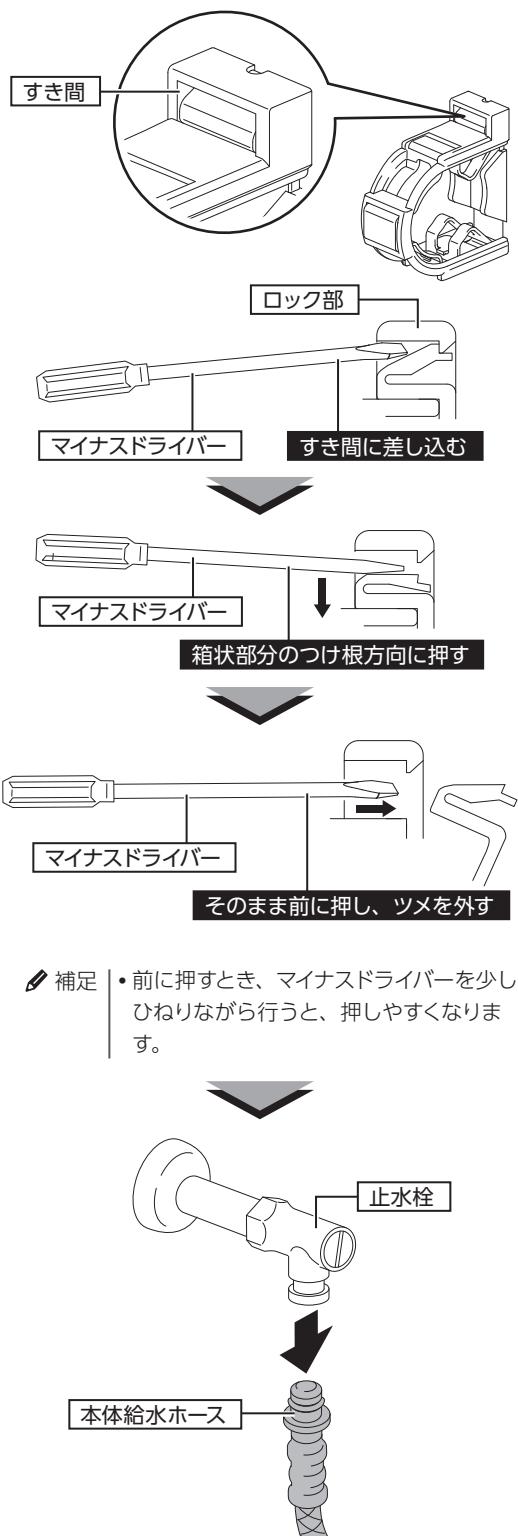
補足 • 次にトイレを使用する前には「ご使用前の準備と確認」に記載してある手順に従ってください (☞ 15 ページ)

11 給水ホースから水を抜く



凍結しそうなとき

11

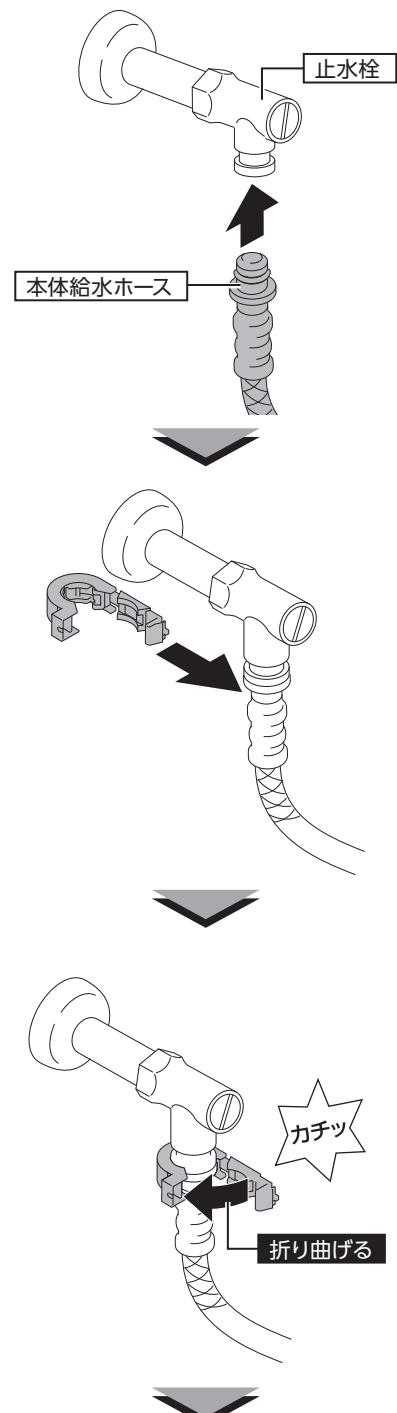


補足 • 前に押すとき、マイナスドライバーを少しひねりながら行うと、押しやすくなります。

補足 • 給水ホース内部から完全に水を抜いてください。

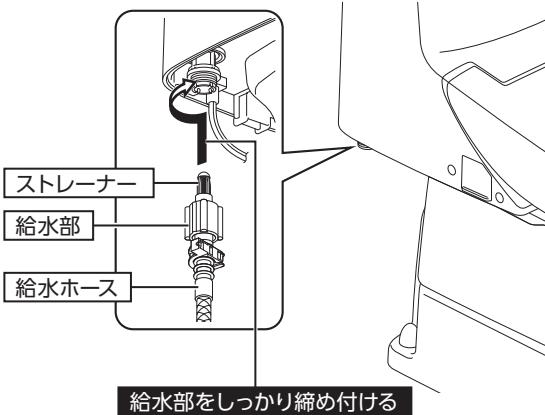
12

給水ホースを取り付ける

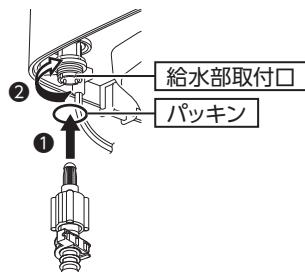


凍結しそうなとき

12



- 補足
- 締め付け後、再度増し締めをし、緩みがないことを確認してください。
 - パッキンが落ちてきたとき、またはうまく締付けられないとき。
①パッキンを給水部取付口に引っ掛ける。
②給水部を締め付ける。



13 不凍液やバスタオルで排水口をふさぐ

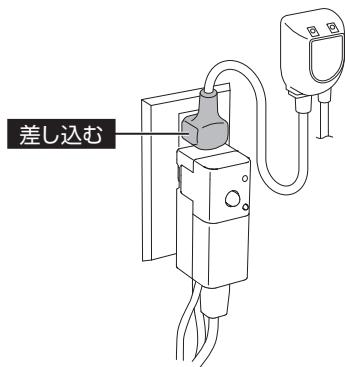
- △ 注意
- 不凍液はそのまま流さず回収する
(浄化槽への悪影響、環境汚染のおそれ)
 - 排水口は確実にふさぐ
(異臭の発生、害虫の侵入のおそれ)

■ヒーター付便器の場合

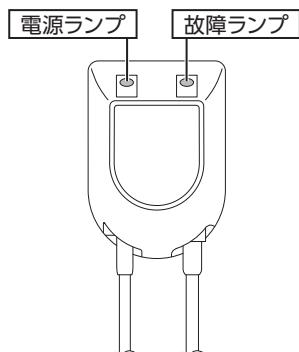
配管や本体などから水抜きをしたあとの手順に加えて、次のことを行ってください。

- 補足
- ヒーター付便器は品番に「H」が付いています。(例: YHBC-XXXX)

1 ヒーターコントローラーの電源プラグをコンセントに差し込む



2 ヒーターコントローラーの「電源ランプ」が点灯、「故障ランプ」が消灯していることを確認する



- △ 注意
- 給水ホースに熱湯や熱風をかけない
(破損の原因)
 - 故障ランプが点灯した場合、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへ連絡してください。

- 補足
- 次にトイレを使用する前には、「ご使用前の準備と確認」に記載してある手順に従ってください。(15ページ)
 - 給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

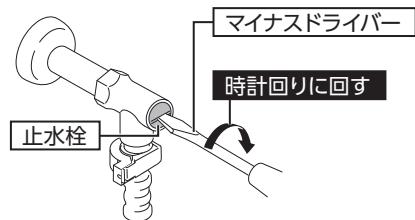
長期間使用しないとき

長期間使用しないときの対応について

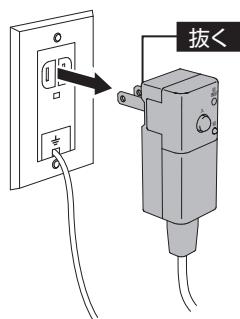
長期間使用しない場合、基本的な対応の他にそれぞれの場合で対応方法があります。故障発生時に被害が大きくなるおそれがありますので、必ず対応を行ってください。

基本的な対応

1 止水栓を閉める



2 電源プラグをコンセントから抜く



水抜きをする

■ 旅行で長期間不在にする場合

■ 別荘に設置している場合

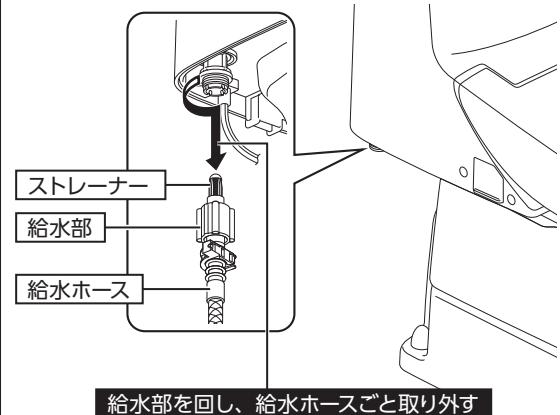
水が汚れて詰まったり、凍結したりするおそれがあります。水抜きをしてください。

1 止水栓を閉める

2 流す [大] または本体の洗浄ハンドルを「大」の方へ操作する

3 電源プラグをコンセントから抜く

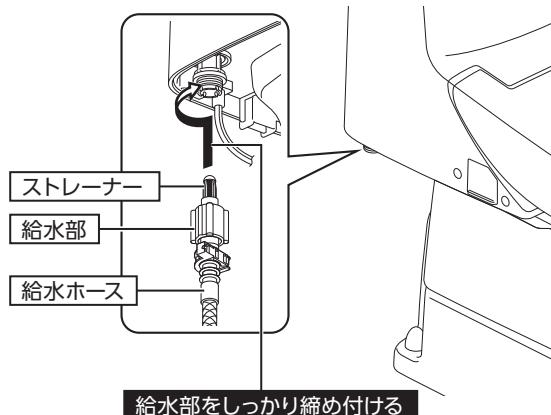
4 給水部から水を抜く



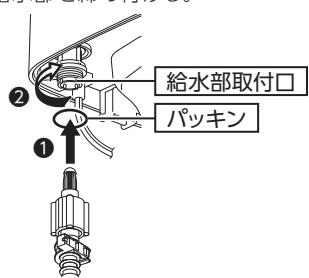
補足 | •取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで水を受けてください。

長期間使用しないとき

5 給水ホースを取り付ける



- 補足**
- ・締め付け後、再度増し締めをし、緩みがないことを確認してください。
 - ・パッキンが落ちてきたとき、またはうまく締付けられないとき。
①パッキンを給水部取付口に引っ掛ける。
②給水部を締め付ける。



8 便器内の水をすべて抜き取る

9 不凍液やバスタオルで排水溝をふさぐ

- △ 注意**
- ・不凍液はそのまま流さず回収する
(浄化槽への悪影響、環境汚染のおそれ)
 - ・排水口は確実にふさぐ
(異臭の発生、害虫の侵入のおそれ)

■凍結するおそれがある場合

10 電源プラグをコンセントに差し込む

11 配管や本体などから水を抜く

- 補足**
- ・「配管や本体などから水を抜く(水抜き方式)」の手順 9 以降を行ってください。
(☞ 52 ページ)

12 電源プラグをコンセントから抜く

6 給水部から水漏れしていないことを確認する

- 補足**
- ・次にトイレを使用する前には「ご使用前の準備と確認」に記載してある手順に従ってください。(☞ 15 ページ)

7 湯水タンクから水を抜く

- 補足**
- ・「配管や本体などから水を抜く(水抜き方式)」の手順 6 ~ 8 を行ってください。
(☞ 51 ページ)

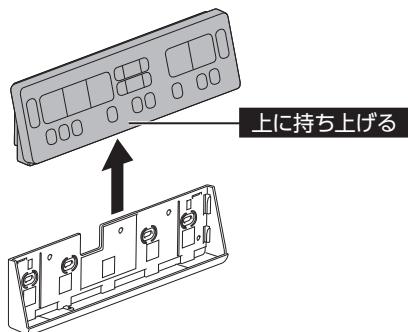
リモコンの電池が切れたとき

リモコン電池切れについて

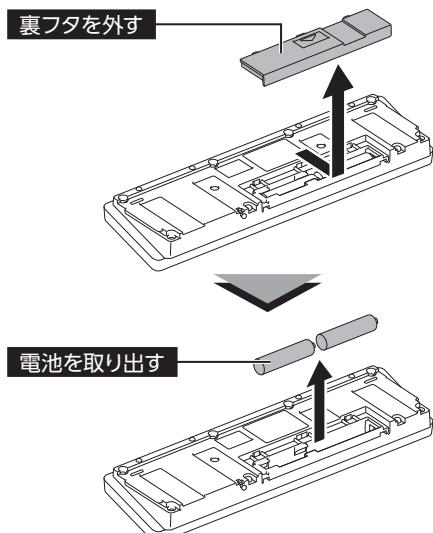
リモコンの電池が消耗すると、「電池表示」が点滅します。電池を交換してください。

壁リモコンの電池を交換する

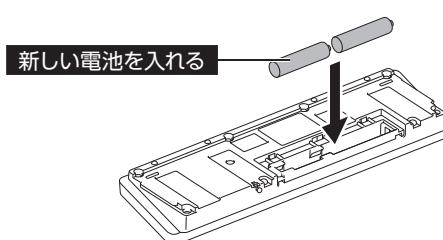
1 壁リモコンをホルダーから外す



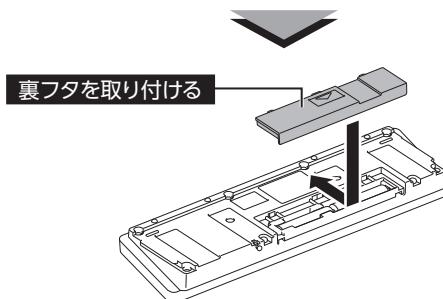
2 電池を取り出す



3 新しい電池を入れる

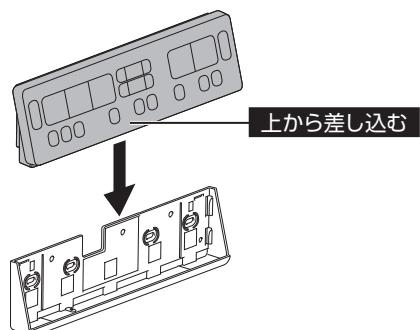


◆ 補足 | • 1.5V アルカリ乾電池 単三形を 2 本使用します。



◆ 補足 | • 必ず裏フタのツメをひっかけて取り付けてください。

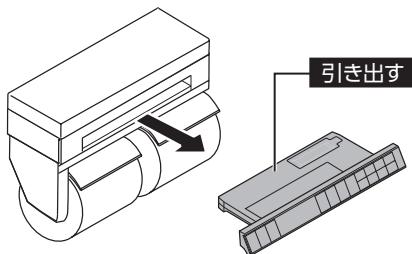
4 壁リモコンをホルダーに差し込む



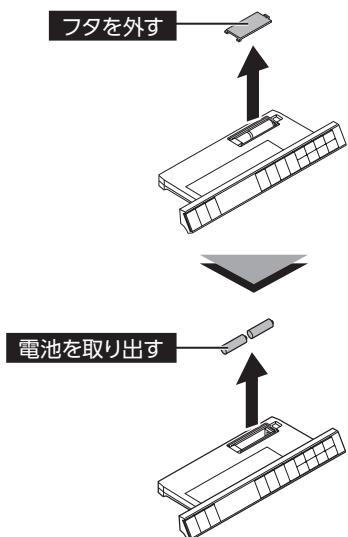
リモコンの電池が切れたとき

インテリアリモコンの電池を交換する

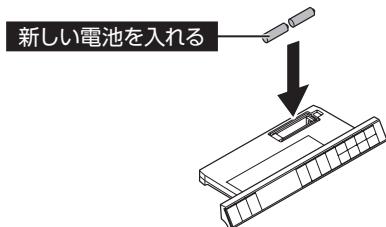
1 インテリアリモコンをホルダーから外す



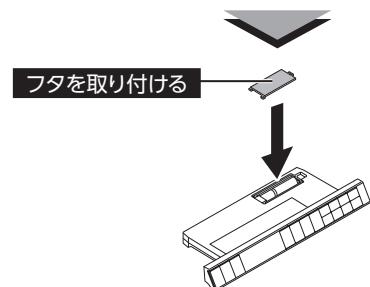
2 電池を取り出す



3 新しい電池を入れる

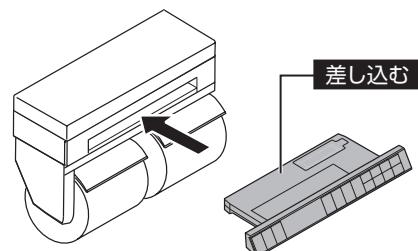


補足 • 1.5V アルカリ乾電池 単三形を 2 本使用します。



補足 • 必ずフタのツメをひっかけて取り付けてください。

4 インテリアリモコンをホルダーに差し込む



よくあるお問い合わせ

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に次の項目を確認してください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよく確認してください。

◆ 補足 | •各部の名称 (☞ 11,12,13 ページ)

全機能

現象	原因	処置	処置ページ
すべての機能が動作しない (本体表示部の電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気がきていない。	停電、ブレーカーなどを確認してください。	—
	電源が「切」になっている。	リモコンの[電源]を押してください。	13
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	15
	漏電している。(電源プラグの表示ランプが点灯している)	電源プラグのリセットボタンを押してください。それでもランプが点灯する場合は、漏電しています。電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。	74, 裏表紙
	100V以外の電圧がかかっている。	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。	裏表紙
リモコンのボタンを押しても動作しない (本体表示部の電源ランプは点灯している)	リモコンの電池表示が点滅している。	新しい電池に交換してください。	57
	リモコンの電池が消耗している。 ※ リモコンが本体のリモコン受光部と反対側の壁に設置してある場合や、部屋の広さ、壁の仕上げや色(特に黒っぽい色)などにより、「電池表示」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。(信号が弱くなるため)		57
	リモコン内の電池の $\oplus\ominus$ の方向が間違っている。	正しい方向に入れてください。	57
	壁リモコン・インテリアリモコンの送信部、または本体のリモコン受光部を体で遮っている。	リモコンをホルダーから外し、リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向けて[止]を押してください。本体表示部の電源ランプが点滅した場合は、商品の異常ではありません。	—

よくあるお問い合わせ

全機能(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
リモコンのボタンを押しても動作しない (本体表示部の電源ランプは点灯している)	壁リモコン・インテリアリモコンの送信部、または本体のリモコン受光部が汚れているか、水が付いている。	汚れや水を取り除いてください。	—
	インバーター照明を使用している。	照明を消して動作を確認してください。正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	—
	壁リモコン・インテリアリモコンの送信部、または本体のリモコン受光部に太陽光が当たっている。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	—
	リモコンのスイッチを押すとリモコンの「OFF」ランプが点灯する。	[電源]を押して、リモコン電源を「ON」にしてください。	13
	インテリアリモコンの場合、リモコンの液晶部に「OFF」と表示されている。	[電源]を押して、リモコン電源を「ON」にしてください。	14

おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	原因	処置	処置ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じている。	止水栓を開けてください。	15
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。	47
	水道圧が低い。	洗浄強さ[+]を押してください。	24
	洗浄強さが最弱付近になっている。		
	着座センサーが検知していない。	肌が直接触れるように便座に座ってください。	9
	温水タンクが満水になっていない。	ご使用前の準備と確認を行ってください。	15
	ロータンクへ給水している。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、もう一度[おしり]・[ビデ]などのボタンを押してください。	22

よくあるお問い合わせ

おしり洗浄・ビデ洗浄(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
シャワーが出ない	シャワートイレへの給水温度が高い。	故障ではありません。配管凍結防止ヒーターなどにより給水温度が約40°C以上になった場合、配管内の高温水が抜けるまでシャワーが出ないことがあります。この場合は便器洗浄などをして配管内の高温水を抜き、もう一度[おしり]・[ビデ]などのボタンを押してください。またこの現象が繰り返し起こる場合には、配管凍結防止ヒーターなどの使用方法を見直してください。	—
以前使用していた機種のシャワーと異なる	他機種からの買い換えの場合、製品の構造が異なるため、交換前のものに比べて以下のような場合があります。 ・シャワーが出るまでの時間が長い ・シャワーがあたる位置に違いが感じられる ・シャワーが強く感じられる、または弱く感じられる そのような場合は製品の特性であり、故障ではありません。		—
シャワーが温かくない	温水温度が低く設定されている。 長時間洗浄している。	温水温度を適当な温度に調節してください。 約10分で温かくなります。貯湯式のため、洗浄の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	24
	節電中である。	節電を解除します。	30
	給水温度やトイレの室温が低い。	故障ではありません。冬場などはシャワーの始めの温度が低い場合があります。	—
シャワーが弱い	洗浄強さが「弱」になっている。	洗浄強さの[+]を押してください。	24
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しくない。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	42

暖房便座

現象	原因	処置	処置ページ
便座が温かくない	便座温度が低く設定されている。	便座温度を適当な温度に調節してください。	22
	節電機能が作動している。	節電を解除してください。	30

よくあるお問い合わせ

暖房便座 (つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
便座が温かくない	便座が水で濡れていたり汚れていったりする。	便座を掃除してください。水や汚れによって着座センサーが誤検知する場合があります。1時間以上検知し続けると暖房便座が自動的に「切」の状態になります。	36
	(鉢内除菌付の場合) 鉢内除菌が作動している。	故障ではありません。使用条件により温度ムラを感じることがあります。鉢内除菌を解除して様子を見てください。	30
	省エネに配慮して、便座温度は最高36°Cとしております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。 トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。	—	—
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオートOFF機能が働いている。	便座ヒーターオートOFF機能を解除してください。	22
	1時間以上便座に座っている。	便座から一度立ち上がり、座り直してください。1時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。	—
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を温めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じことがあります。製品の特性であり、故障ではありません。	—	—

脱臭

現象	原因	処置	処置ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便座が水で濡れていたり汚れていったりする。	便座を掃除してください。水や汚れによって着座センサーが誤検知する場合があります。	36
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」になっている。	脱臭を「入」にしてください。	28

よくあるお問い合わせ

脱臭(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
脱臭ファンが回らない	便座が水で濡れていたり汚れていったりする。	便座を掃除してください。水や汚れによって着座センサーが誤検知する場合があります。	—
	2時間以上便座に座っている。	便座から一度立ち上がり、座り直してください。2時間以上検知し続けると、脱臭ファンが自動的に「切」の状態になります。	
脱臭効果が弱くなつた(においが気になる)	脱臭カートリッジにホコリや汚れが付着している。	脱臭カートリッジを掃除してください。	45
	長期間使用している。	脱臭カートリッジを交換してください。脱臭カートリッジには寿命があり、約7年で効果がなくなります。	76

便器洗浄

現象	原因	処置	処置ページ
便器内に少量の水が出る	故障ではありません。初期動作確認のための洗浄です。		—
自動で便器洗浄しない(フルオート便器洗浄付の場合)	フルオート便器洗浄が「切」になっている。	フルオート便器洗浄を「入」にしてください。	26
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。大洗浄と小洗浄では約1L異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大きな違いはありません。		—
ボタンを押してもすぐ洗浄しない	凍結している。	部屋を暖めてから使用してください。	—

フルオート便座(フルオート便座付の場合)

現象	原因	処置	処置ページ
便座・便フタがバタンと落ちる	自動開閉中に便フタを押された。	[便座開／閉]を押し、自動開閉しない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	裏表紙

よくあるお問い合わせ

フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
便座・便フタがバタンと落ちる	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っ掛けている。	便フタカバー・便座カバーは取り付けないでください。	7
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	15
便フタまたは便座が自動開閉しない	フルオート便座が「切」になっている。	フルオート便座を「入」にしてください。	21
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っ掛けている。	便フタカバー・便座カバーは取り付けないでください。	7
	便フタが正しく取り付けられていな	い。便フタを正しく取り付けてください。	36
便フタが自動開閉しない、または便座が電動開閉しない	使用する直前に手で便フタを閉めた。	使用する直前に手で便フタを閉じると約15秒間は自動で便フタは開きません。	—
	室温が高い。	夏場など室温が高い場合や、直射日光などで作動しにくい場合があります。トイレ室内を換気して室温下げたり、便座の前で体を動かしたりして、センサーに人を感知させるようにしてください。	9
	人体検知センサー(上)が汚れている。	センサー部を、柔らかくきれいな布で拭いてください。	36
便フタが開きっぱなしになっている、または人がいなくても開閉を繰り返している	直射日光が直接センサーに当たっている。	直射日光が当たらないようにしてください。	—
便座を自動で開くとき、勢いよく開いて、便フタに当たる	故障ではありません。便座が倒れてこないようにしっかりと開くためです。		—
以前使用していた機種よりも、動作音が大きい	他機種からの買い替えの場合、以前のものと製品の構造が異なるため、作動音が大きいと感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		—

よくあるお問い合わせ

温風乾燥

現象	原因	処置	処置ページ
温風が出ない	着座センサーが検知していない。	肌が直接触れるように便座に座ってください。	9
温風が温かくない	温風乾燥が低く設定されている。	温風乾燥を適当な温度に調節してください。	25
	使用条件により、温度の感じ方に差が出る場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)		—
温風が途中で止まる	4分以上使っている。	もう一度[乾燥]を押してください。	25

お掃除リフトアップ

現象	原因	処置	処置ページ
リフトアップ下降時に本体が降りきらない	本体と便器の間に異物が入っている。	異物を取り除いてください。	—

鉢内除菌

現象	原因	処置	処置ページ
鉢内除菌が動作しない	[イオン]が「切」になっている。	[イオン]を「入」にしてください。	30
	便フタが開いた状態になっている。	便フタが閉じているとき動作します。 (フルオート便座付の場合) フルオート便座を「入」にしてください。 (フルオート便座なしの場合) 手で便フタを閉じてください。	21

よくあるお問い合わせ

便器（陶器部）

現象	原因	処置	処置ページ
汚物が詰まった	止水栓を閉め、電源プラグを抜いてから詰まりを取り除いてください。自動洗浄で意図せずに水が流れ、便鉢から水があふれるおそれがあります。 ※ 市販のトイレ詰まり除去用の吸引器（商品名：ラバーカップ）などを使ってください。中型（φ 130mm 程度）が最適です。		8
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていない。	止水栓を十分に開けて使用してください。	15
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。	47
	給水ホースが折れている。	LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。	裏表紙
	トイレットペーパーを多めに流している。	大洗浄で水を流してください。紙をたくさん使用した場合、小洗浄で紙が流れない場合があります。1度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では5m程度を目安にしてください。	8,26
小便がはね返る	(立ってする場合) 小便が跳ねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがある。	溜水面の中央をねらったほうが小便跳ねを軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便跳ねは軽減できます。	—
	(座ってする場合) 座る位置や小便をする方向によっては、跳ね返ることがある。	座る位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、跳ね返りは軽減できます。	—
床がぬれています (便器表面や止水栓がぬれています)	水温と室温の差が大きく、結露が発生した。	換気扇や、窓を開けてください。結露を軽減できます。	—
	尿が便器を伝って床に垂れた可能性がある。	床を拭いてしばらく様子を見てください。それでも床がぬれています場合は、コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	裏表紙
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。汚物を便器から排出するときに、空気も同時に巻き込むため「ゴボゴボ」と音が発生します。「ゴボゴボ」と音が2秒以上続く場合は、通気管などを設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。		—
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。		—

よくあるお問い合わせ

便器 (陶器部) (つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり、水がはねる場合があります。		—
用便時に水がはね返る(おつり)	便器鉢内に溜水があることが原因であるが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象である。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただくと軽減できます。	—
便器(陶器)に黒色やピンク色の汚れがある	空気中のカビやバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖した。	定期的に清掃残りがないように掃除してください。お掃除不足やお掃除ができていない部分には汚れや水アカが堆積し、黒カビ(黒い輪ジミ)や酵母菌(ピンク汚れ)が繁殖することがあります。汚れは付着しているだけですので、お掃除で除去できます。トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使用して掃除してください。漂白剤を使用すると除菌効果がありますが、強いアルカリ性の漂白剤は陶器表面を傷つけるため使用しないでください。	—
便器鉢内に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器鉢内に付着した。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。	—
便器鉢内に赤いサビの付着物がある			
便器を掃除していたらスジ状の金属キズがついた(メタルマーク)	便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがある。	市販のメラミンスポンジに十分に水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。メタルマークの除去方法は動画でご確認いただけます。 	—

よくあるお問い合わせ

便器（陶器部）（つづき）

現象	原因	処置	処置ページ
子どもの便が付着して落ちない	幼児や児童など、身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄をしても落ちない場合があります。		—
新品なのに便器の底が黄ばんでいる・汚れている	照明器具の灯りによって、便器の影が底面に映るため、汚れのように見えることがある。	照明器具を消して、確認してください。	—
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合がある。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくした後数回洗浄してください。	—
便器の洗浄が弱くなっている	便器水たまりにある洗浄穴の周りに固いもの（尿石）が固着している可能性がある。	固着している場合は、尿石除去剤を尿石がつかるまで入れて、数時間放置させて割り箸等の硬いものでこすり取ってください。尿石除去剤が便器表面に残っているとアクリルセラミックの効果が発揮できない場合があるため、中性洗剤で尿石除去剤を除去してください。 尿石が付かないように、トイレ使用時は毎回必ず洗浄をお願いします。 ※ 汚れが蓄積されることで流れが弱くなる、漏水等の不具合が起きる可能性があります。	—

その他

現象	原因	処置	処置ページ
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより、便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	—
本体から「グググッ」と音がする ・電源プラグを差し込んだとき ・シャワーを止めたとき	故障ではありません。シャワートイレが正常に作動するために、モーターが動いている音です。洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ、問題ありません。		—

よくあるお問い合わせ

その他(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
本体から「ジー、ジー…」と音がする	プラズマクラスターイオンが発生するときの音で、故障ではありません。音の種類は変わることがあります。使用環境により、音が大きく感じたり、聞こえにくく感じたりすることがあります。プラズマクラスターイオンの効果は変わりません。		—
本体表示部の電源ランプが点滅している	シャワートイレ本体に給水されていない。(断水、止水栓が閉まっているなど)	給水後、止水栓を開いて、試運転を行ってください。それでも点滅する場合は、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。	裏表紙
	いずれかの機能に不具合が生じている。	電源を「切」にしても点滅している場合は、故障しています。コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。	裏表紙
	給水ホースなど、配管に凍結防止ヒーターがついている。	凍結防止ヒーターを「切」にしてください。給水温度が40°Cを超えると、安全装置が働き作動しなくなります。	—
本体表示部の点検ランプが点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですので、お早めに点検をお受けください。	73
シャワートイレ本体と陶器のすき間があいている	故障ではありません。 焼きものならではの個体差により、すき間が空いて見える場合があります。 そのままご使用ください。		—
漏水している	ストレーナーが緩んでいる。	ストレーナーを締めてください。	47
	ストレーナーにゴミが付着している。	ストレーナーを掃除してください。	47
	温水タンク水抜栓が緩んでいる。	温水タンク水抜栓を締めてください。	52
	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	—
便座がガタつく	故障ではありません。便座が上下する構造のため、便座の足と便器の間にすき間があります。便座前足の片側のみが、便器につく設計になっています。		—
便座裏側にある足が便器についていない			
手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていない。	止水栓を全開にしてください。	15
	ストレーナーが詰まっている。	ストレーナーの掃除を行ってください。	47

よくあるお問い合わせ

その他(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
手洗い水が出るのが遅い	故障ではありません。 構造上、数秒かかる場合があります。		—
ロータンクをゆらすと手洗い水が流れる	故障ではありません。 タンクに強い衝撃を与えないように注意してご使用ください。		—
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていない。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻してください。	15
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーの掃除をしてください。	47
便器鉢内に水がチョロチョロと流れ続ける(水が止まらない)	(流動方式の場合) 流動ダイヤルが開いている。	流動ダイヤルを回して流動を解除してください。	50
	故障ではありません。水を流してから5分以内に水が止まるようでしたら、便器の溜水を確保するための補給水です。		—
ロータンクへ給水中に、ロータンクから「コツコツ」と音がする。	故障ではありません。水抜操作や連続洗浄をしたり、洗浄ハンドルを長時間回した状態で保持すると、ロータンク内の水位が通常より低下します。その際、ロータンク内の浮玉がロータンク内部に接触し、音が発生する場合があります。ご使用方法に沿ってご使用ください。		—
水を流した後にロータンク内から「ゴトッ」という音がする	故障ではありません。水を流し終わった際にロータンク内で発生する音です。		—
便器洗浄後に「ドン」と音がする	給水止水時に配管内でウォーターハンマー(水撃作用)が発生している。	止水栓をマイナスドライバーなどで右に回し、流量を絞ってください。ただし、絞り過ぎると手洗いに支障が出るため、適度に調整してください。	47
お買い上げ時の設定に戻したいとき	初期設定に戻す操作をしてください。設定を変更した機能を、全てお買い上げ時に戻します。		32
ノズルシャッターが閉まらない	鉢内除菌が動作している	故障ではありません。必要に応じて設定を「切」にしてください。鉢内除菌の動作中は、ノズルシャッターが開いています。	30
便鉢内が青く光る	青ライトの設定が「入」になっている。	故障ではありません。必要に応じて設定を「切」にしてください。	30

製品の長期使用について

製品の長期使用に関する本体表示

■本体への表示内容

経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に次の内容の表示をしております。

- ・製造年（本体に西暦4桁で表示）
- ・注意表記



▲警告 想定安全使用期間 10年

想定安全使用期間を超えてお使いいただい場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

◆補足

- ・一般家庭用以外（事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

■標準仕様条件

環境条件	電圧・周波数 AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
温度	20°C	JIS A4422 規格票による
給水温度	15°C・0.2MPa	JIS A4422 規格票による
負荷条件	定格負荷 製品仕様による標準設置状態	—
想定時間	4人家族（男性2人、女性2人）において、大便：1回／日・人、小便男性：4回／日・人、小便女性：4回／日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。	JIS A4422 規格票による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。	

■経年劣化について

「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

製品の長期使用について

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

ご自宅の温水洗浄便座、
何年お使いですか?
故障していませんか?

長年のご使用や故障したままのご使用は、
電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。



温水洗浄便座を安全に使う3つのポイント

①

定期的な点検を
おすすめします。
まずは自分で
安全チェックを。

②

リコール製品や
故障した製品は
使わない
でください。

③

長期間お使いの
製品は点検と
買い替えを
ご検討ください。

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。

発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止してください。

長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。
- 便座がときどき冷たい(節電中は除く)。
- 便座が異常に熱いときがある。
- お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。
- 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。
- 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。
- 便座にひびや割れがある。
- 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
- 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
- 製品や便器を伝って水漏れしている。
- 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

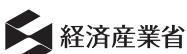
一般社団法人
発行元：日本レストルーム工業会

<https://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ 検索



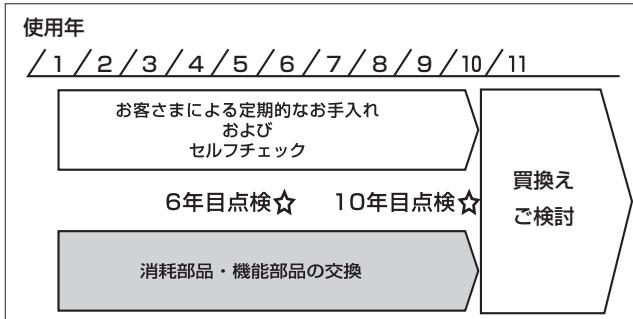
詳細はこちらを
ご覧ください



一般社団法人
リビングアメニティ協会

点検・交換をする

定期点検・部品交換などの目安



有料点検のおすすめ

有料となります。当社では各種点検をご用意しています。

有料点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

補足 | • 点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

■6年目点検（逆流防止装置の点検）

逆流防止装置が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。

「6年目点検」として、逆流防止装置点検を受けていただくことをおすすめします。

また、「あんしん点検」も併せて受けさせていただくことをおすすめします。

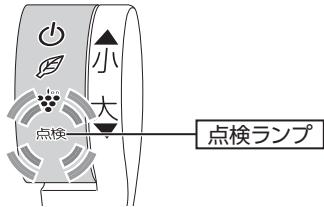
有料点検のおすすめ（つづき）

■10年目点検（点検ランプ点灯時）

製品を約10年ご使用いただくと点検ランプが点灯します。これは機器の故障ではなく、お客様に安心してご使用いただくための機能です。

長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

この機会に「10年目点検（おまかせ点検）」を受けていただくことをおすすめします。



補足 | • ご使用条件により、点検ランプの点灯時期は異なります。（[71ページ](#)）
• お客様による操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービス員による「10年目点検（おまかせ点検）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。

■点検

定期点検の時期にかかわらず、お客様のご希望の時期に、サービス員が確認する「あんしん点検」をご用意しています。

日々のセルフチェックでは確認できない本体内部を含む製品の状況をサービス員が点検することで、安心してご使用いただけます。

補足 | • 点検の内容は「10年目点検（おまかせ点検）」と同じです。

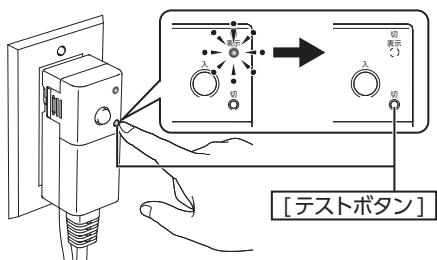
点検・交換をする

電源プラグを点検する

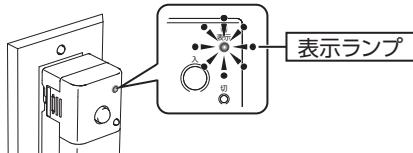
点検の目安 月に1～2回程度

電源プラグには「漏電保護機能」が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。次の手順で点検してください。

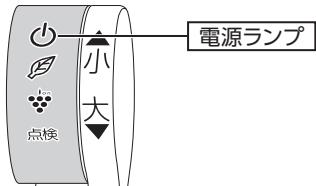
1 本体の電源が「入」の状態で、電源プラグの[テストボタン]を押す



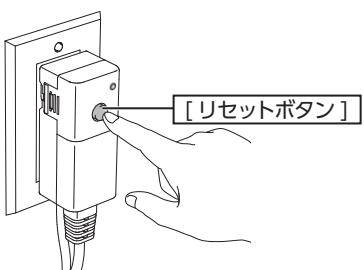
2 「表示ランプ」の点灯を確認する



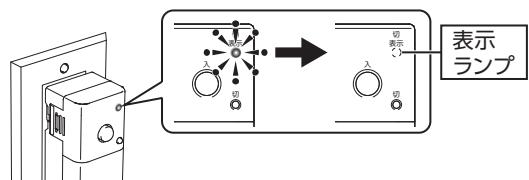
3 「電源ランプ」の消灯を確認する



4 電源プラグの[リセットボタン]を押す



5 「表示ランプ」の消灯を確認する



補足 • この点検をすると、「ワンタッチ節電」の設定が解除されます。

点検・交換をする

セルフチェックをする

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身で行うことができます。次の表をもとに、定期的な点検をお願いいたします。

- ▲ 警告**
 - ・セルフチェック表の1項目でも該当する場合は、次のことをする
 - ・コンセントから電源プラグを抜く
 - ・止水栓を閉める
 - ・販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターに連絡する
(火災・感電・室内浸水の原因)
- お願い**
 - ・セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。
 - ・セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

- ◆ 補足**
 - ・点検目安は当社おすすめの期間です。

セルフチェック表

状況	点検目安	実施日					
便座・便座コードのチェック表							
<input type="checkbox"/> 本体や便座にひびや割れがある	年 2 回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> ゴム足が外れている	年 2 回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときや冷たいときがある	月 1 回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 便座がスムーズに開閉できない	年 2 回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 便座のガタツキがある	年 2 回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れのチェック表							
<input type="checkbox"/> 水漏れしている							
● お願い <ul style="list-style-type: none"> ・同時に、不具合がないことを確認してください。 	年 2 回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグのチェック表							
<input type="checkbox"/> 電源コードが熱くなっている	月 1 回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 傷んだり、挟み込んだりしている	月 1 回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)している	月 1 回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源プラグにほこりがたまっている							
<input type="checkbox"/> たまっている場合は、ほこりを取り除いてください。	月 1 回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

点検・交換をする

別売品を購入する

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。別売品の購入、お問い合わせは裏表紙をご参照ください。

LIXIL オンラインショップ

別売品をWEBで購入



■おしりノズル先端 (品番 : CWA-323) / ビデノズル先端 (品番 : CWA-324)

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。(☞ 42 ページ)



おしりノズル先端

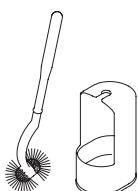


ビデノズル先端

■お掃除ブラシ (品番 : CWA-48・CWA-48-A)

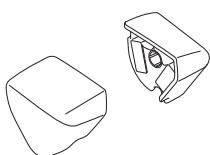
便器のアクアセラミック表面にキズを付けないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。
(☞ 35 ページ)

補足 | • CWA-48-A はケースが付きません。



■便座ストッパー (品番 : CWA-325)

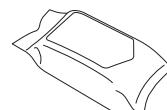
便フタを外してご使用する場合にご購入ください。



補足 | • 便座ストッパーをご使用の際、鉢内除菌機能、フルオート便座機能は使用できません。

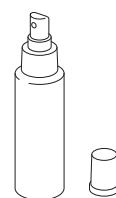
■トイレ用おそうじティッシュ (品番 : CWA-36-4SET)

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。(☞ 35 ページ)



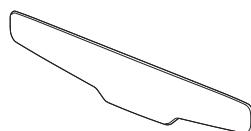
■シャワートイレお掃除クリーナー (品番 : CWA-20)

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
(☞ 35 ページ)



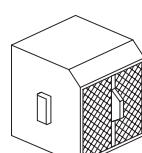
■ノズルシャッター (品番 : CWA-322)

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。(☞ 43 ページ)



■脱臭カートリッジ (品番 : CWA-29)

脱臭モードでトイレの臭いを取るためのものです。交換するだけで、簡単に脱臭効果がもどります。脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。
(☞ 45 ページ)



修理を依頼する

修理を依頼する前に

故障ではない場合があります。「よくあるお問い合わせ」(☞ 59 ページ) をご参照ください。

それでも解消されない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

● お願い

- ・次の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。
 - ・取扱説明書どおりに使用しても不明な点がある
 - ・コードの痛みやコンセントのガタつきがある
 - ・コンセントや電源プラグ、コードの過熱

連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
(便フタ裏または製品本体に貼ってある表示をご覧ください)
3. お取付日 (保証書をご参照ください)
4. 故障内容・異常の状況 (できるだけ詳しく)
5. 訪問ご希望日



◆ 補足

- ・ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってある表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。

保証書を確認する

点検の目安 取付日から 2 年間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。

● お願い

- ・記載内容を確認していただき、大切に保管してください。

◆ 補足

- ・保証期間内でも有料になることがあります。

修理を依頼する

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後 12 年です。

点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

◆ 補足

- ・補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 各種お問い合わせ先

裏表紙をご参照ください。

保証を延長する

延長保証について

通常、保証期間は2年間ですが、リクシルオーナーズクラブへの会員登録をされますと無料でさらに1年延長されます。

- 補足
- 詳しくはご購入時にお渡しの「リクシルオーナーズクラブご登録（所有者登録）のお願い」をご参照ください。
 - 非住宅でご使用の場合は、WEBからのご登録のみとなります。

リクシルオーナーズクラブに登録する

■WEBで登録する場合

1 お客様の製品情報を確認する



2 スマートフォンかパソコンから、次のURLにアクセスする <https://lixil.to/loccw01>

・こちらからでもアクセスできます。→

3 「リクシルオーナーズクラブ」に会員登録をして製品情報を登録する

- 補足
- ご登録にはメールアドレスが必要になります。
 - 製造番号、品名、品番の入力が必要になります。
 - マイページから登録製品および延長保証書の確認ができます。

4 保証書に次の内容を記入する

- ・製造番号
- ・品名
- ・品番

■同梱の「オーナーズクラブ会員登録兼長期保証サービスお申込みハガキ」で登録する場合

1 オーナーズクラブ会員登録ハガキに必要事項を記入する

- 補足
- 記入もれがありますと、登録できない場合があります。フリガナもご記入ください。
 - 取付日をご記入ください。
 - 電話番号は延長保証書が宛先不明で返送された際の確認などに必要です。

2 保証書に次の内容を記入する

- ・製造番号
- ・品名
- ・品番
- ・ハガキの郵送日

3 延長保証書が郵送されたら、保証書とあわせて保管する

- 補足
- 登録された住所に、2ヶ月を目途に郵送されます。届かない場合は、「お客様保守センター」にお問い合わせください。（裏表紙）

個人情報のお取扱いについて

ご登録いただいたお客様の情報は、次の目的に利用させていただきます。

- お客様に対してダイレクトメール、電子メール等による情報（製品安全に関する大切なお知らせ、当社商品・サービスに関わる情報など）をご提供するため
- リクシルオーナーズクラブの特典やキャンペーンなどで当選したプレゼントをお客さまにお届けするため
- 商品やサービスについてお客様の利用状況や満足度を調査するため

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページ「プライバシーポリシー」をご参照ください。

仕様

◆ 補足 |・グレードの型番は「品番対応一覧」をご参照ください。(☞ 17 ページ)

シリーズ名	アメージュシャワートイレ				
グレード	Z6	Z4	Z2	Z1	
定格電源		AC100V 50/60Hz			
定格消費電力	400W		330W		
省エネ区分		貯湯式			
年間消費電力量 ^{※1}	178 kwh / 年 (節電機能切時: 250 kwh / 年)				
給水圧力	最低必要圧力 最高圧力	0.06MPa (流動時) 0.75MPa (静止時)			
使用温度範囲		0°C~40°C			
商品寸法	幅416mm×奥行764mm×高さ909mm (手洗無) / 1005mm (手洗付) 床排水: 約37kg (機能部: 約11kg、便器部: 約26kg) リトイレ: 約40kg (機能部: 約11kg、便器部: 約29kg) 床上排水: 約38kg (機能部: 約11kg、便器部: 約27kg) マンションリリフォーム用: 約36kg (機能部: 約11kg、便器部: 約25kg)				
商品質量					
電源コード (電源接続方式)	有効長さ 1.0m (漏電保護機能、アースコード付)				
便器部	洗浄水量	大洗浄5L、小洗浄3.8L、 男子小洗浄3.8L (ECOモード解除時: 大洗浄約8L、小洗浄約6L、 男子小洗浄約6L)		大洗浄5L、小洗浄3.8L (ECOモード解除時: 大洗浄約8L、小洗浄約6L)	
	給水方式	水道直結式			
	便器洗浄方式	パワーストーム洗浄			
	サイズ	大型			
	流動方式	90L/h			
	ヒーター付	27W			
	安全装置	温度ヒューズ			
機能部	凍結防止	便器方式 電源コード長さ	1.5m		
	洗浄	給水方式 給湯方式 (タンク容量)	水道直結式 貯湯式 (0.76L)		
		おしり吐水量	0.34~0.68L/分 (6段階調節) 供給水圧0.2MPaのとき おしりターボ洗浄時: 1.00L/分 給水圧0.2MPaのとき		
		ビデ吐水量	0.38~0.65L/分 (6段階調節) 供給水圧0.2MPaのとき		
		温水温度	水温・約32°C~40°C (計6段階切替) ワンタッチ節電(8h) 設定時: 室温 スーパー節電設定時: 水温・約30°C~36°C		
		ヒーター容量	250W		
		安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空焚検知回路		
	温風乾燥	風量 温風温度	0.3m³/分 室温・約40°C~55°C (計3段階切替)	—	
		ヒーター容量	340W	—	
		安全装置	温度ヒューズ	—	
リモコン	鉢内除菌	風量 方式	0.05m³/分以上 プラズマクラスター技術 による分解・除去方式	—	
	暖房便座	表面温度 ^{※2}	室温・約28°C~36°C (計6段階切替) スーパー節電設定時: 室温・約27°C~30°C ワンタッチ節電(8h) 設定時: 室温	—	
		ヒーター容量	4.8W	—	
	脱臭	安全装置	温度ヒューズ	—	
		脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式 パワー脱臭時: 0.11m³/分 フルパワー脱臭時: 0.14m³/分 ターボ脱臭時: 0.17m³/分	—	
	壁リモコン	寸法 電源	幅263mm×奥行34mm×高さ73mm 単三アルカリ乾電池: 2本	—	
	インテリア リモコン	寸法 電源	幅325mm×奥行130mm×高さ38mm 単三アルカリ乾電池: 2本	—	

※ 1: 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。

※ 2: 省エネに配慮して、便座温度は最高 36°C としています。

使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。

トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

※ 3: 上記の各数値は一定の条件下によるもので、使用環境条件等により異なる場合があります。

△ 注意 |・この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

機能 / 性能について

鉢内除菌の性能試験情報

■浮遊カビ菌

試験機関	(財) 石川県予防医学協会
試験方法	8畳相当の実験室にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌をエアーサンプラーにて測定。(プラズマクラスターイオン濃度: 3,000 個 /cm ³)
試験効果	約 195 分で除菌率 99.0%
効果効能	8畳相当試験空間におけるプラズマクラスターイオン発生器を用いた実証結果、イオン濃度が同等であれば同等の結果が得られると考えられます。

■付着菌

試験機関	(一財) 日本食品分析センター
試験方法	約 9L の試験空間にて菌を試験片に付着させプラズマクラスターイオンを放出。 その後、試験空間内の試験片を回収し、2 日間培養後、菌の除去率を算出。(プラズマクラスターイオン濃度: 90,000 個 /cm ³)
試験効果	40 時間で除去率 99% 以上
試験成績書 発行番号	第 12086808001-01 号
効果効能	実使用空間での実証結果ではありません。使用・環境条件（温度・湿度）によっては効果が異なります。鉢内除菌は付着細菌を除菌するもので、清掃不要になるものではありません。

■におい原因菌

試験機関	当社調べ
試験方法	約 9L の試験便器空間に、におい原因菌を付着させた試験片を置き、プラズマクラスターイオンを放出。 その後、試験空間内の試験片を回収し、2 日間培養後、菌の除去率を算出。(イオン濃度: 70,000 個 /cm ³)
試験効果	30 時間で除去率 99.0% 以上
効果効能	使用・環境条件（温度、湿度）によっては効果が異なります。鉢内除菌は付着細菌を除菌するもので、清掃不要になるものではありません。においの種類・強さなどによって、におい除去効果は異なります。

KILAMIC 抗菌商品について

KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。

また、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染などが防げるわけではありません。

抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。

KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

スローダウン便座について

便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を低減します。

パワーストリーム洗浄について

勢いのよい水流で、グルッと強力に洗い流します。

超節水トイレについて

従来品に比べ、3 ~ 5 日でおフロ 1 杯以上の節水効果があります。

著作権など

- ・ プラズマクラスターTMロゴおよびプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお本文中ではTM、[®] マーク表記については一部記載していません。

修理・お取扱いのご相談

次の流れで、順にご確認・お問い合わせください。

1 本冊の「よくあるお問い合わせ」(☞ 59 ページ) を確認する

故障ではない場合や、お客さまご自身で解決できる場合があります。

2 改善しない場合は、お求めの取扱店に相談する

お買い上げ時に次の内容を記入しておくと、修理対応がスムーズです。

トイレ シリーズ名・品番		ご購入年月日	
取扱店名		取扱店電話番号	

お取扱店がわからない、ご連絡できない場合は、LIXIL のお客さま窓口へお問い合わせください。

お客さま窓口

インターネットからのお問い合わせ

LIXIL 公式ホームページ お客さまサポート <https://www.lixil.co.jp/support/>

LIXIL お客さまサポート

検索



ご利用できるコンテンツ

- メールでのお問い合わせ
- WEB 修理受付
- WEB パーツ販売 (※)
- Q&A
- 所有者登録
- 長期保証サービス
- お手入れ動画

商品のお問い合わせ

お客さま相談センター

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-400 または TEL 0562-40-4050

FAX ☎ 0120-179-430 または FAX 0562-40-4053

修理・点検のご依頼

製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センター

受付時間：9:00～19:00 (年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索



<https://www.lixil.co.jp/support/>

所有者登録・延長保証のお問い合わせ

お客さま保守センター

受付時間：平日 10:00～17:00 (土日祝日・夏季休暇・年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-473

別売品のご購入

部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL パーツショップ [水まわり部品販売]

受付時間：平日 9:00～17:00 (土日祝日・ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始休み)

TEL ☎ 0120-126-015 または <https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/>

※パーツショップは、お客さまご自身でお取換える部品を宅配サービスにて取扱う窓口です。

お取換え作業時に特別な資格、技術が必要なものや、安全性に関わる部品は取扱っていません。

個人情報のお取扱いについて

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。